

# 取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。なお、この取扱説明書は、保証書と一緒に必ず保管してください。  
接続と取り付けは、別冊の取付説明書をご覧ください。

**carrozeria**  
by **PIONEER**

# AVM-P909MD



# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

## 警告

### [使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画質の調整を行うときは、画面を長く見る必要があります。自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。

走行中にテレビやビデオを見ない



禁止

運転者がテレビやビデオを見る時は、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり、交通事故の原因となります。

### [異常時の処置]

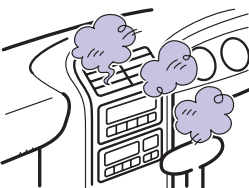
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

## はじめに

上手にお使いいただくために	6
メインコントローラーの準備	8
本書の見かた	9
各部のなまえと主な働き	10

## 共通の操作

フロントパネルの開/閉・角度を調節する	12
聞きたいソース (音源) を選ぶ / 電源を切る	14
メニューの操作概要	16
映像の明るさや色を調整する	18
ワイド画面の拡大のしかたを変える	20

## 内蔵CDでCDを聞く

CDのふだんの操作	22
CDをセットする	
曲を選ぶ	
早送り/早戻しをする	
音量を調節する	
CDを取り出す	
演奏方法の切り換えかた	24
CD TEXTを表示する	26

## 内蔵MDでMDを聞く

MDのふだんの操作	28
MDをセットする	
曲を選ぶ	
早送り/早戻しをする	
音量を調節する	
MDを取り出す	
演奏方法の切り換えかた	30
MDのタイトルを表示する	32

## ラジオを聞く

ラジオのふだんの操作	34
バンドを選ぶ	
放送局を選ぶ	
音量を調節する	
複数の放送局を自動的に記憶させる	36
放送局を1局ずつ記憶させる	37
記憶させた放送局を呼び出す	38
2つのアンテナでFM放送を受信する	39
放送局名を記憶させる	40
交通情報を受信する	42

## テレビを見る

テレビのふだんの操作	44
バンドを選ぶ	
チャンネルを選ぶ	
音量を調節する	
複数のチャンネルを自動的に 記憶させる	46
チャンネルの記憶を変更する	47
記憶させたチャンネルを呼び出す	48
ナビゲーションやビデオを設定する	49

## マルチCDでCDを聞く (マルチCD接続時のみ)

マルチCDのふだんの操作	50
CDを選ぶ	
曲を選ぶ	
早送り/早戻しをする	
音量を調節する	
聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚)	52
おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚)	53
ソースメニューの切り換えかた (50枚)	54
同じ曲やCDを繰り返し聞く	55
いつもと違う曲順で聞く	56
CDの音質を調整する	57
CDをグループ分けする (50枚)	58
グループ別で再生する (50枚)	60
CDをグループから消す (50枚)	61
演奏頻度でCDを再生する (50枚)	62
CDのタイトルを表示する	64
選んだCDを取り出す (50枚)	66

# C O N T E N T S

すぐ使えます  
ここだけ読めば

すぐに使いたいときは、  
ここをお読みください。

## 音を調節する

オーディオ調節メニューの切り換えかた	68
前後左右の音量バランスを調節する	69
サブウーファーを使う	70
サブウーファーを調節する	72
小音量時の音にメリハリをつける	73
各ソースの音量の違いをそろえる	74

## 音場と音質を調節する

DSP を使おう	76
DSP 調節メニューの切り換えかた	77
音楽に合った音質を設定する	78
イコライザーカーブをおおまかに補正する	80
イコライザーカーブを細かく調節する	82
イメージに合った演奏会場を再現する	84
曲に合わせてエフェクターをかけよう	86
音場の中心で聞く	87
オートイコライジングを行う前に	88
オートイコライジングの調節	90

## その他の機能と付録

時計を表示させる	92
時計を合わせる	93
ナビゲーションのガイド音声を設定する	94
ガイド音声中にソースの音量を下げる	95
よく使う機能を学習させる	96
TV アンテナの設定をする	97
夜間のディスプレイの明るさを切り換える	98
音の歪みを補正する	99
ビデオの映像を見る	100
外部機器の音声を聞く	101
RCA 出力を切り換える	102
映像 (ナビなど) と音声を切り換える	103
フロントパネル	
・ モニターの正しい使いかた	104
CD の正しい使いかた	106
MD の正しい使いかた	107
こんなメッセージが表示されたら	108
故障かな? と思ったら	110
本機を初期状態に戻す	112
保証書とアフターサービス	113
おもな仕様	114

## はじめに

### 共通の操作

### 内蔵 CD で CD を聞く

### 内蔵 MD で MD を聞く

### ラジオを聞く

### テレビを見る

### マルチ CD で CD を聞く

### 音を調節する

### 音場と音質を調節する

### その他の機能と付録

# 上手にお使いいただくために

## 安全走行のために

本機は、パーキングブレーキのON/OFFを検知しており、走行中は操作できない機能があります。(操作すると次のようなメッセージが表示されます。)また、走行中にテレビやビデオの映像を見ることはできません。

例：テレビを見ようとしたとき



このようなメッセージは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけることで解除されます。

## バッテリー上がりを防ぐために


本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。また、本機の電源が「切」のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON (またはACC) にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

## 必ず、映像の明るさを調整してください

液晶モニターは、その構造上きれいに見える角度が限られていますが、その上下左右方向角度は映像の明るさ（ブライト）を調整することで変えることができます。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、見る角度に合わせて映像の明るさを調整してください。

## 昼間と夜間の色の違いについて

夜間、周囲が暗くなったときに画面がまぶしくならないように、車のライトをONにすると、表示画面が昼画面から夜画面に切り換わります。（液晶画面が暗くなり、映像が暗い配色になります。）

例：CDを再生しているときの画面（ 22ページ）



昼画面（車のライトOFF）

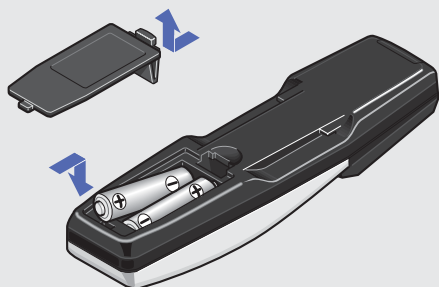
夜画面（車のライトON）

本書では、昼画面の色を例にして説明しています。したがって、夜画面のときは、説明の色と実際の色が異なる場合があります。

# メインコントローラーの準備

## メインコントローラーに電池を入れる

裏ボタンを開けて、単4形乾電池 (R03) 2本をセットします。



メインコントローラーの操作可能範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

## リモコンの取り扱い上のご注意

メインコントローラーを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

メインコントローラー受光部に直射日光が当たっていると、メインコントローラーの操作ができないことがあります。このようなときは、メインコントローラー受光部にメインコントローラーを近づけて操作してください。

乾電池は充電できません。

メインコントローラーを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。



# 本書の見かた

## ボタンを押すときのイラストの見かた


本書では、ボタンを押す操作は、次のようなイラストで説明しています。



DISPLAY ボタンを押すことを表しています。











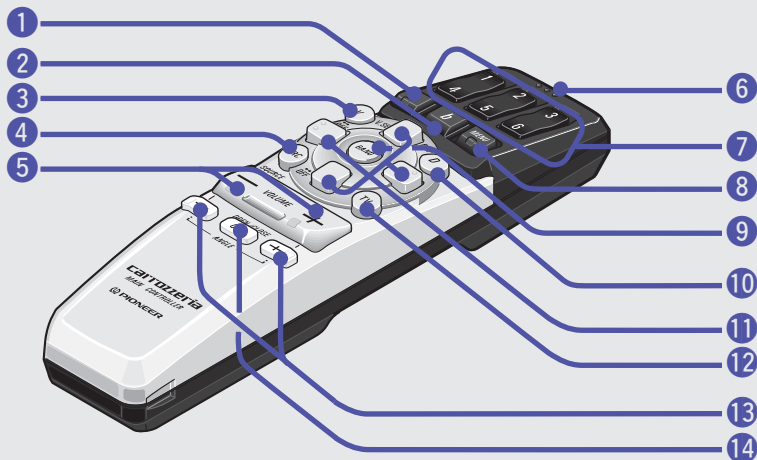
DISPLAY ボタンを2秒以上押すことを表しています。

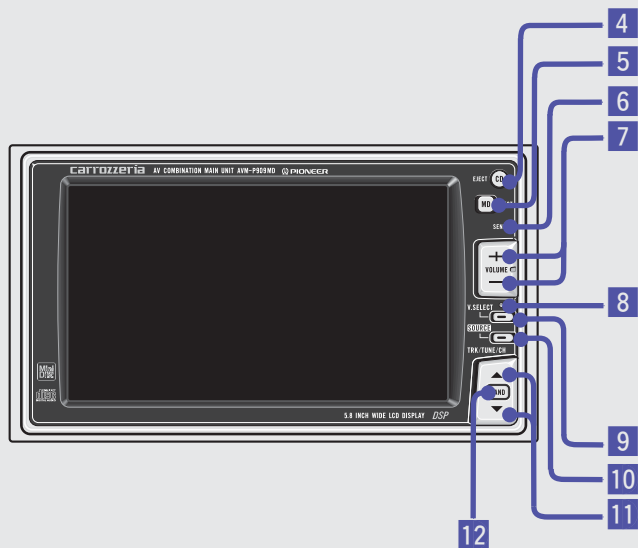
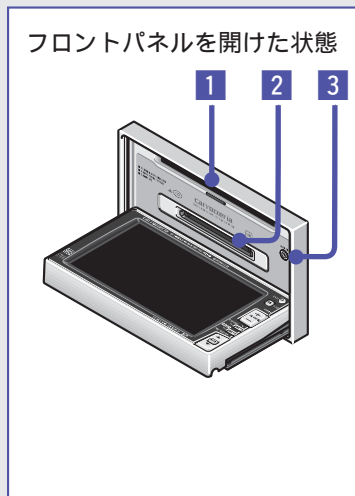
本書では、メインコントローラーを中心に操作説明をしています。  
本体の説明は「各部のなまえと主な働き」(  11 ページ) をご覧ください。

# 各部のなまえと主な働き

## メインコントローラー

- ① aボタン
- ② bボタン
- ③ V.SEL ボタン (  103ページ)  
ビジュアルセレクト  
DVDナビゲーションなどの映像を切り換えます。  
DVDナビゲーションの映像を見ながら、CDを聞くなどできます。
- ④ SOURCE ボタン (  14ページ)  
ソース (音源) を切り換えます。
- ⑤ 音量調節 (+/-) ボタン  
(  23、29、35、45、51ページ)  
音量を調節します。
- ⑥ メインコントローラー送信部  
ここを、フロントパネルのメインコントローラー受光部 (⑥) に向けて操作します。
- ⑦ 1 ~ 6 ボタン
- ⑧ MENU ボタン  
メニュー  
各 MENU を表示します。
- ⑨ BAND ボタン (  34、44ページ)  
バンド  
TV やラジオのバンドを切り換えます。
- ⑩ DISPLAY ボタン (  26、32、64ページ)  
ディスプレイ  
CD や MD のタイトルを表示します。
- ⑪ ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン
- ⑫ TV ボタン (  14ページ)  
テレビ  
SOURCE ボタンを押すことなく、テレビやビデオを切り換えることができます。
- ⑬ ANGLE (+/-) ボタン (  13ページ)  
アングル  
フロントパネルの角度を調節します。
- ⑭ OPEN/CLOSE ボタン (  12ページ)  
オープン/クローズ  
フロントパネルを開け/閉めます。





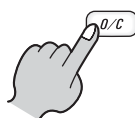
## 本体

- 1 CD 挿入口 (☞ 22 ページ)
- 2 MD 挿入口 (☞ 28 ページ)
- 3 マイク入力端子 (☞ 90 ページ)  
オートイコライジングを行うためのマイク入力端子です。
- 4 CD イジェクトボタン (☞ 23 ページ)  
CD 挿入口までのフロントパネルの開け/閉め、およびCD イジェクトをします。
- 5 MD イジェクトボタン (☞ 29 ページ)  
MD 挿入口までのフロントパネルの開け/閉め、およびMD のイジェクトをします。
- 6 メインコントローラー受光部  
メインコントローラーはここに向けて操作します。
- 7 音量調節 (+ / -) ボタン (☞ 22、28、34、44、50 ページ)  
音量を調節します。  
メインコントローラーの音量調節 (+ / -) ボタンと同じ動作をします。
- 8 リセットボタン (☞ 112 ページ)  
ビジュアル セレクト
- 9 V.SELECT/学習ボタン (☞ 94 ページ)  
DVD ナビゲーションやテレビ、ビデオの映像を切り換えます。  
メインコントローラーのV.SEL ボタンと同じ動作をします。  
また、よく使う機能をこのボタンに学習させることができます。
- 10 SOURCE ボタン (☞ 14 ページ)  
ソース (音源) を切り換えます。  
メインコントローラーのSOURCE ボタンと同じ動作をします。
- 11 ▲ / ▼ ボタン  
メインコントローラーの◀ / ▶ ボタンと同じ動作をします。
- 12 BAND ボタン (☞ 34、44、50 ページ)  
TV やラジオのバンド、マルチCD のCD を切り換えます。  
TV やラジオのときはメインコントローラーのBAND ボタン、マルチCD のときはメインコントローラーの▲ ボタンと同じ動作をします。

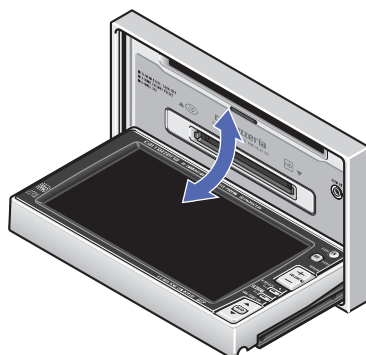
# フロントパネルの開/閉・角度を調節する

モニターを見る場合、フロントパネルを見やすい角度に調節することができます。

## フロントパネルを開ける・閉める



押すとフロントパネルが開きます。  
もう一度押すと、閉まります。




フロントパネルを開けると、CD挿入口とMD挿入口が現れます。

メインコントローラーの取り付け位置によっては、フロントパネルの角度調節を行うと、メインコントローラーでの操作が効かないことがあります。このようなときは、メインコントローラーを本機に近づけて操作してください。

フロントパネルの上下動作中は手を触れないでください。誤動作や故障の原因となります。

フロントパネルは、開ききった状態のまま使用しないでください。

モニターを使用する際は、必ず「モニターの取扱上のご注意」(  104ページ)をお守りください。



フロントパネルの開け/閉め、角度調節時は、手・指や衣服をはさまないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

ここだけ読めば  
すぐ使えます

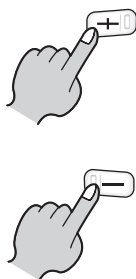


角度調節されたフロントパネルを  
閉める場合は

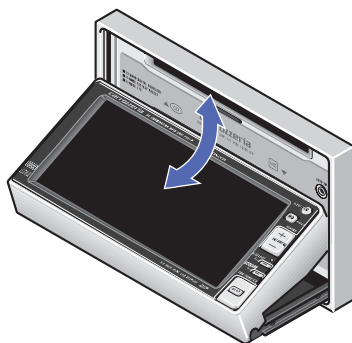


共通の操作

## フロントパネルの角度を調節する



押すとフロントパネル  
の角度が変わります。



角度の調節は、手動で行わない  
ください。フロントパネルに  
強い力が加わると、故障するこ  
とがあります。

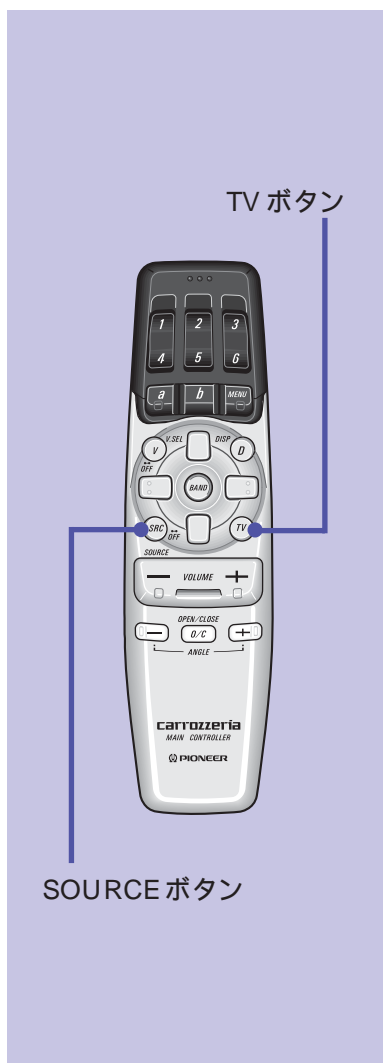
12段階の角度で調節できます。

### メモ

角度調節を行った最後の角度が記憶されます。角度調節を行った後、フロント  
パネルの開け/閉めを行うと、記憶された角度との間で開け/閉めします。

# 聞きたいソース (音源) を選ぶ / 電源を切る

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。



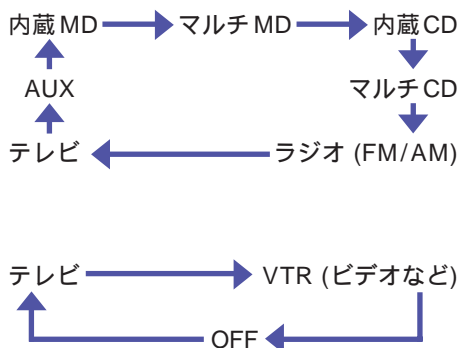
## 聞きたいソースに切り換える



押すごとに切り換わります。



押すごとに切り換わります。



### メモ

接続していないソースには切り換わりません。  
 CDやMDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。  
 AUX (外部機器) の設定をONにしないと、AUXには切り換わりません。(101ページ)

VTR (ビデオなど) の設定をONにしないと、VTRには切り換わりません。(100ページ)  
 DVDナビゲーションやビデオを見ながらCDを聞くなど、異なるソースの映像と音声を同時に楽しむことができます。(103ページ)  
 TVボタンを使いVTRを選んだ状態で、SOURCEボタンを押すとVTRが選べます。

## それぞれのソース画面について

ソースを切り換えると、そのソースの再生が始まります。また、次のような画面になります。

内蔵MD



マルチMD



内蔵CD



動作状態が表示されます。

マルチCD



ラジオ (FM/AM)



テレビ



受信状態の表示は約6秒で消えます。

AUX (外部機器)



VTR (ビデオなど)



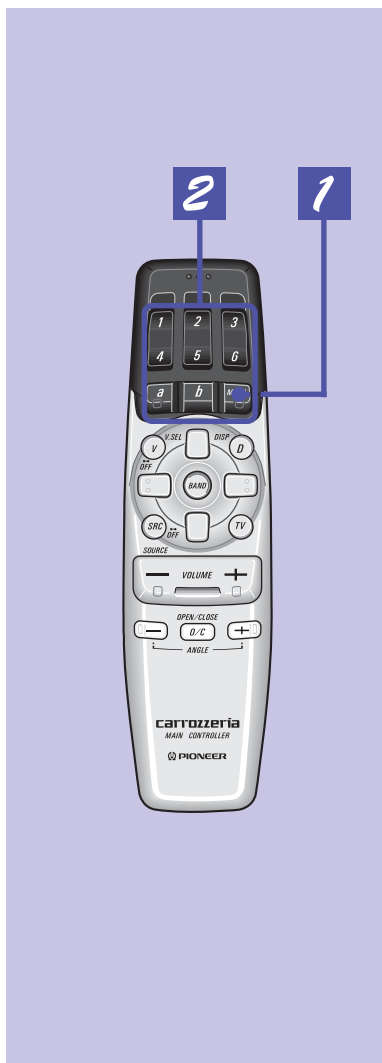
## 電源を切る



2秒以上押し  
ます。

# メニューの操作概要

本機は、各メニューより演奏方法の変更、映像調整、DSPの設定、オーディオ調節、ユーザー設定を行うことができます。



## 1 メニューを切り換える



押すごとに切り換わります。



例：内蔵CDのソースメニュー



## それぞれのメニュー画面について

メニューを切り換えると、各メニューが表示されます。

ソースメニュー



映像調整メニュー



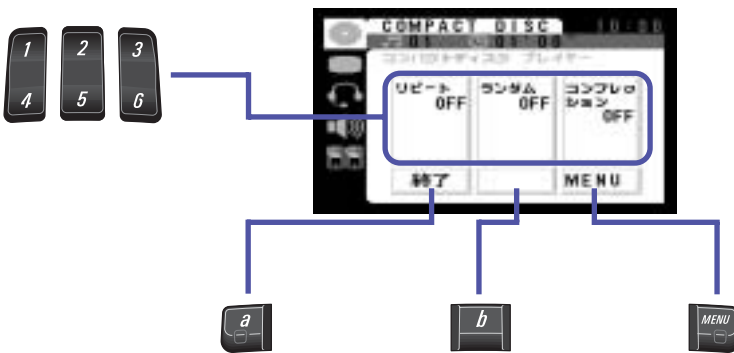


## 2

## 選んだメニューを操作する

モニターに表示される項目は、リモコンの1～6ボタン、aボタン、bボタン、MENUボタンの配列に対応するよう表示され、対応するボタンを押すとその項目が操作できるようになっています。また、▲/▼/◀/▶が表示されたときは▲/▼/◀/▶ボタンで操作できるようになっています。

例：内蔵CDのソースメニュー



メニューを解除するには、aボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも自動的に解除されます。)

また、次のような画面になります。

DSP 調節メニュー



オーディオ調節メニュー

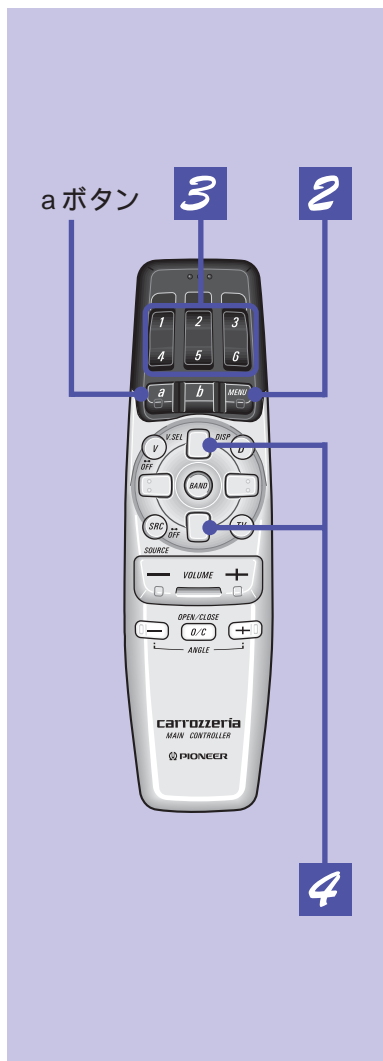


ユーザー設定メニュー



# 映像の明るさや色を調整する

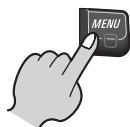
テレビの映像は、明るさや色などをお好みにあわせて変えることができます。DVDナビゲーションの映像や各ソースのコントロール画面は明るさだけ変えられます。ディマーの設定をONにしたいとき (☞ 98ページ) それぞれ車のライトがONのときとOFFのときで別々に調整内容が記憶されます。



## 1 調整する映像を選ぶ

ソース切り換え (☞ 14ページ) や、映像切り換え (☞ 103ページ) で調整する映像を表示させます。なお、走行中はテレビの映像の調整はできません。

## 2 映像調整メニューに切り換える (☞ 16ページ)



### メモ

テレビ、ビデオなど (VTR) の映像とDVDナビゲーション映像、各ソースのコントロール画面の調整内容は別々に記憶されます。またディマー設定をONにしたときは、ライトがOFF (明るい昼間) と、ONのとき (暗い夜間) の調整内容が別々に記憶されます。

各ソースのコントロール画面とDVDナビゲーションの映像は明るさだけ調整できます。

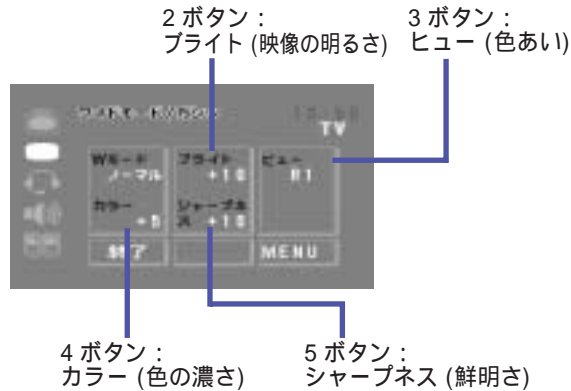
ビデオを接続した場合 (☞ 101ページ)、ビデオとテレビは、明るさや色など全て調整できます。

### 3 調整する項目を選ぶ

赤字になっている項目が選ばれています。



調整したい項目のボタンを押す。



共通の操作

### 4 調整する



+ 側に調整するとき



- 側に調整するとき

それぞれ、- 24 ~ + 24 まで 49 段階に調整できます。

項目	- 側	+ 側
ブライト (映像の明るさ)	暗くなる	明るくなる
ヒュー (色あい)	肌色が赤みがる	肌色が緑がる
カラー (色の濃さ)	薄くなる	濃くなる
シャープネス (鮮明さ)	やわらかくなる	くっきりする

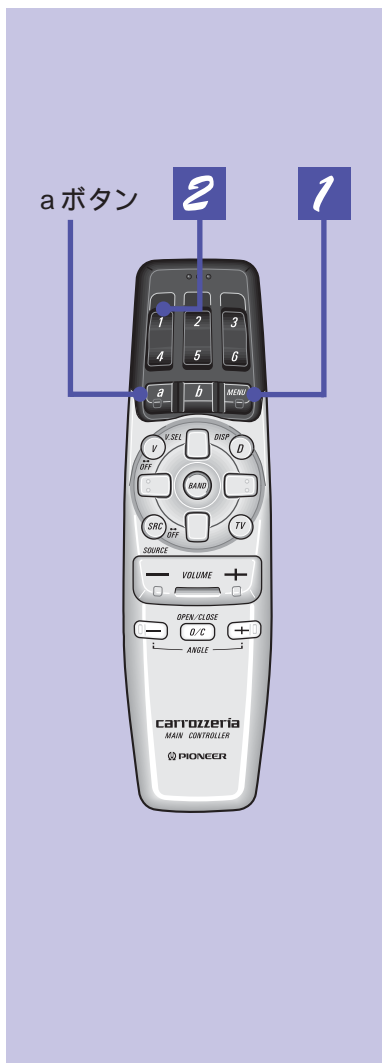
各項目の下に調整内容が表示されます。



映像調整メニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

# ワイド画面の拡大のしかたを変える

4 : 3の映像を16 : 9の映像に拡大するときの方法を選ぶことができます。通常のテレビ番組を見るときや、映画を見るときなど、お好みに合わせて切り換えてください。



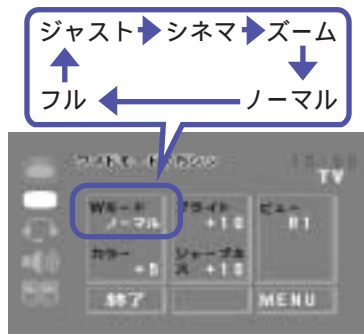
## 1 映像調整メニューに切り換える (👉 16ページ)



## 2 画面の表示方法を選ぶ



押すごとに切り換わります。



映像調整メニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。



設定が表示されます。

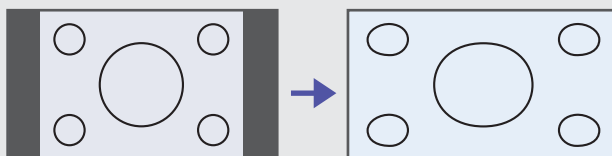
### メモ

テレビやビデオ、DVDナビゲーションの映像のときに、ここで設定したワイドモードの映像になります。

各映像で、設定内容が別々に記憶されます。メニュー（映像調整メニュー以外）を表示しているときは、ここでの設定に関係なく常にフルになります。

### ジャスト

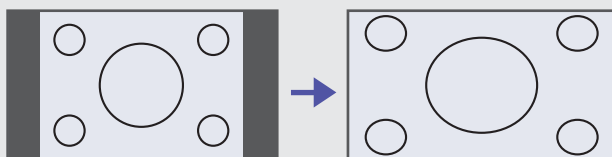
中央付近は少し、両端ほど横に拡大します。



4 : 3 の映像を違和感が少ない状態でワイド画面を楽しむことができます。

### シネマ

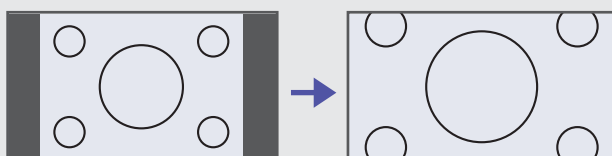
フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。



字幕が映像の外にある、映画サイズの映像（横長の映像）を楽しむモードです。

### ズーム

4 : 3 の映像の上下、左右を同じ比率で拡大します。



映画サイズの映像（横長の映像）を楽しむモードです。

### ノーマル

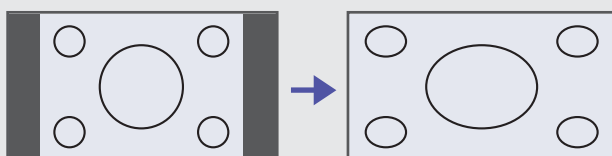
4 : 3 の映像をそのまま表示します。



通常の映像と同じですので、違和感がありません。

### フル

4 : 3 の映像の左右だけを拡大します。



テレビの4 : 3 の映像（通常の映像）が欠けることなく、ワイド画面で楽しめます。

## この映像にはこのワイドモードをおすすめします

テレビの4 : 3 の映像  
（通常の映像）



ジャスト

（シネマやズームにすると、映像の上下が欠けてしまいます。）

映画サイズの映像  
（横長の映像）



ズーム

（映画サイズの映像は、上下に黒帯が付いていますので、ズームが適しています。）

字幕が映像の外にある、映画サイズの映像（横長の映像）



シネマ

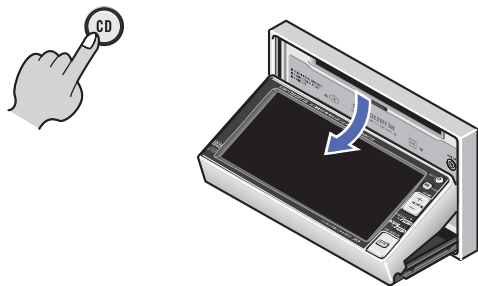
（ズームでは欠けてしまう、映像の外の字幕を表示できます。）

# CD のふだんの操作

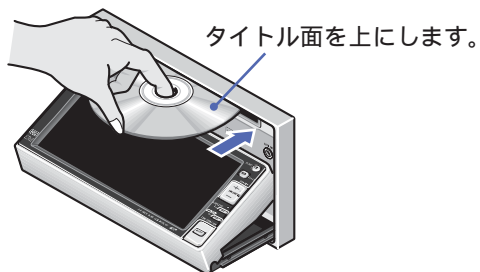
CD をセットする

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

## 1 CD 挿入口を開ける



## 2 CD をセットする



自動でフロントパネルが閉まり、  
CDの再生が始まります。



8 cm CDもアダプターなしでセットで  
きます。アダプターは絶対に使用しない  
てください。

### メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやマルチCDなど)に切り換えることもできます。(14ページ)



ここだけ読めば  
すぐ使えます



### 3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)



前の曲を選ぶとき  
(または早戻し)



次の曲を選ぶとき  
(または早送り)



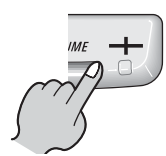
曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け	
聞きたい曲の選択	0.5秒以内
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し続けている間

### 4 音量を調節する



小さくするとき

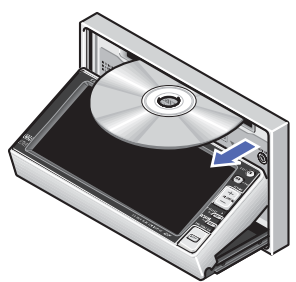


大きくするとき



約4秒間、音量が表示されます。  
0～40の範囲で調節できます。

### 5 CDを取り出して CD再生をやる

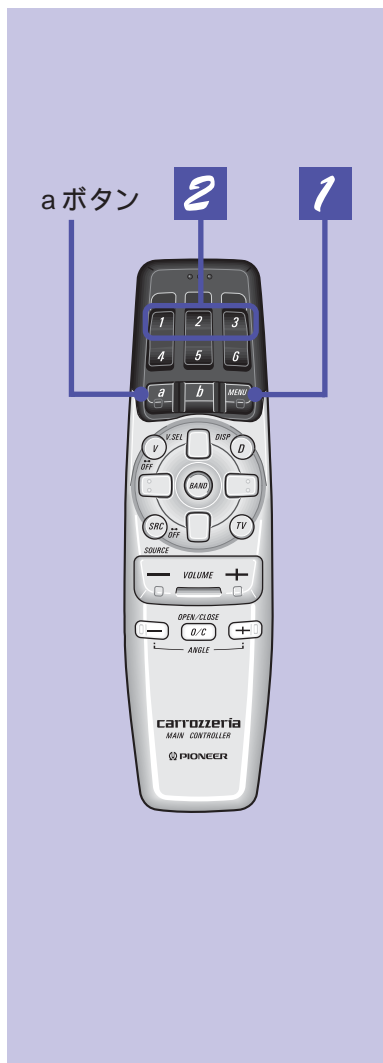


出してきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

内蔵CDでCDを聞く

# 演奏方法の切り換えかた

内蔵CDの演奏方法を切り換えて聞くことができます。演奏方法には、リピート再生やランダム再生、コンプレッション機能など便利な機能があります。



## 1 ソースメニューに切り換える (16ページ)



## 2 演奏方法を切り換える



押すごとにリピート再生がON/OFFします。



押すごとにランダム再生がON/OFFします。



押すごとにコンプレッションが切り換わります。



各項目の下に設定内容が表示されます。



ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。





ソース画面中にも、設定が表示されます。

## リピート再生

いま聞いている曲を繰り返し再生します。

## ランダム再生

次の曲からランダムに再生します。

## コンプレッション機能

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりするときに調整します。COMPもDBEも2段階に切り換えられますが1より2のほうが、より効果があります。

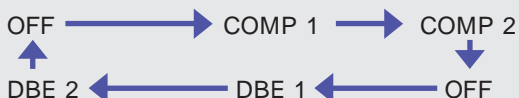
### COMP

COMPとはCompression (コンプレッション) の略です。COMP機能は大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくするものです。この機能は、小さな音が聞き取りにくいときにお使いになると便利です。

### DBE

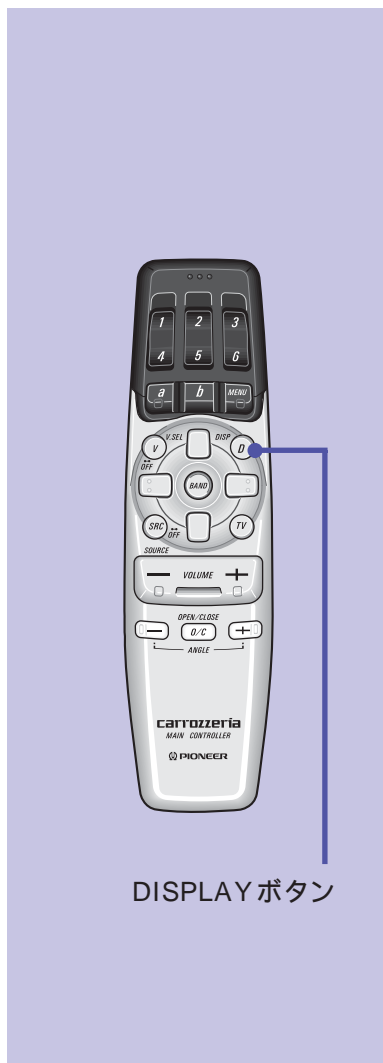
DBEとはDynamic Bass Emphasis (ダイナミック バスエンファシス) の略です。DBE機能は、車内で不足がちな低音を押し上げるものです。

コンプレッション機能はボタンを押すごとに次のように切り換わります。



# CD TEXT を表示する

「CD TEXT」再生中にディスク名 / 歌手名 / 曲名といったタイトルをそれぞれ表示させることができます。



## 表示を切り換える



押すごとに次のように切り換わります。

ディスクネーム (ディスク名)



ディスクアーティストネーム (歌手名)



トラックネーム (曲名)



## メモ

「CD TEXT」とは、ディスク名 / 歌手名 / 曲名などの文字情報が記録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークの付いているCDは「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



## 隠れているタイトルを表示する (タイトルスクロール)

ディスク名 / 歌手名 / 曲名はモニターに16文字までしか表示されませんが、隠れている文字を順番に表示させることができます。

### 隠れているタイトルを表示する



2秒以上押します。



隠れている文字が順番に表示されていきます。

#### メモ

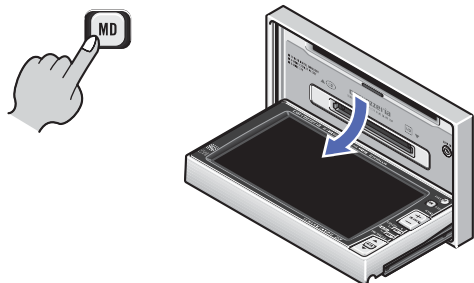
タイトルスクロール中に、DISPLAYボタンを押すとタイトルスクロールが解除されます。

# MD のふだんの操作

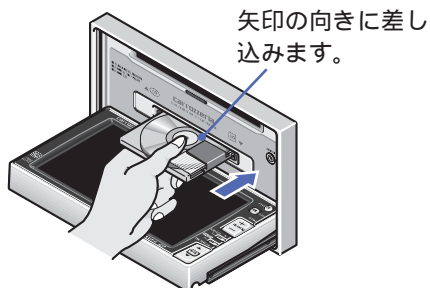
MD をセットする

ここだけの操作で、MDを聞くことができます。

## 1 フロントパネルを開ける



## 2 MD をセットする



自動でフロントパネルが閉まり、MDの再生が始まります。



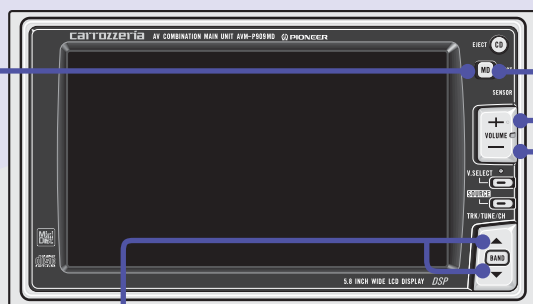
MDのシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。



### メモ

MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやマルチCDなど)に切り換えることもできます。(▶ 14ページ)

ここだけ読めば  
 すぐ使えます



### 3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)



前の曲を選ぶとき  
 (または早戻し)



次の曲を選ぶとき  
 (または早送り)



曲番号 再生経過時間

#### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

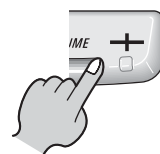
聞きたい曲の選択 0.5秒以内

曲の早送り/早戻し 0.5秒以上押し続け  
 ている間

### 4 音量を調節する



小さくするとき

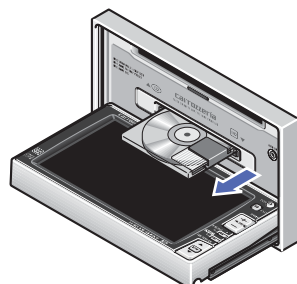


大きくするとき



約4秒間、音量が表示されます。  
 0～40の範囲で調節できます。

### 5 MDを取り出して MD再生をやめる

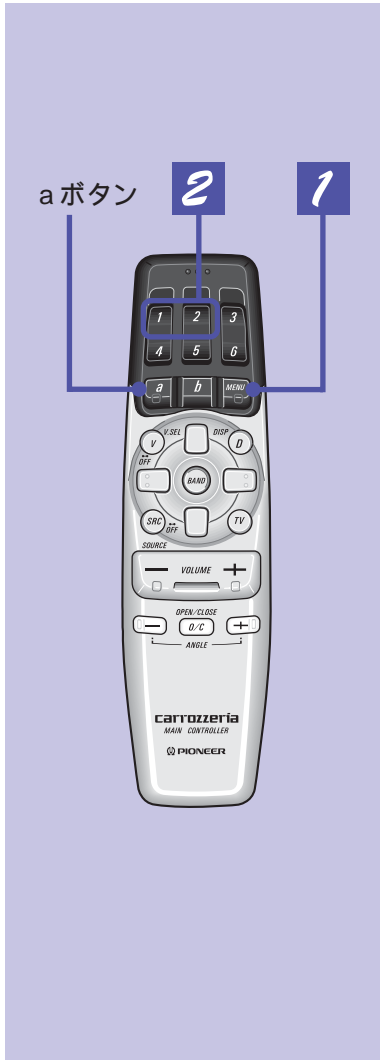


出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

内蔵MDでMDを聞く

# 演奏方法の切り換えかた

内蔵 MD の演奏方法を切り換えて聞くことができます。演奏方法には、リピート再生やランダム再生など便利な機能があります。



## 1 ソースメニューに切り換える (16 ページ)



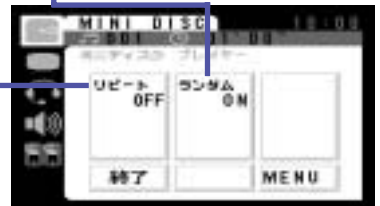
## 2 演奏方法を切り換える



押すごとにリピート再生が ON/OFF します。



押すごとにランダム再生が ON/OFF します。



各項目の下に設定内容が表示されます。



ソースメニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。



ソース画面中にも、設定が表示されます。

### リピート再生

いま聞いている曲を繰り返し再生します。

### ランダム再生

次の曲からランダムに再生します。

# MDのタイトルを表示する

ディスク名や曲名が記録されているMDを再生しているときは、ディスク名や曲名を表示させることができます。それぞれの表示は、簡単に切り換えることができます。

## 表示を切り換える



押すごとに次のように切り換わります。

ディスク名 (ディスク名)



トラック名 (曲名)



DISPLAY ボタン

### メモ

ディスク名や曲名が記録されていないMDは、表示させることはできません。



## 隠れているタイトルを表示する (タイトルスクロール)

ディスク名や曲名はモニターに16文字までしか表示されませんが、隠れている文字を順番に表示させることができます。

## 隠れているタイトルを表示する



2秒以上押します。



隠れている文字が順番に表示されていきます。

## メモ

タイトルスクロール中に、DISPLAYボタンを押すとタイトルスクロールが解除されます。

# ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

## 1 ソースをラジオにする

( 14ページ)



ラジオになるまでボタンを押す。

ラジオの受信が始まり、ラジオの受信状態が表示されます。

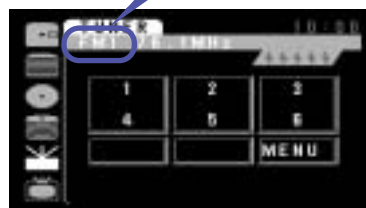


## 2 バンドを選ぶ



押すごとにバンドが切り換わります。

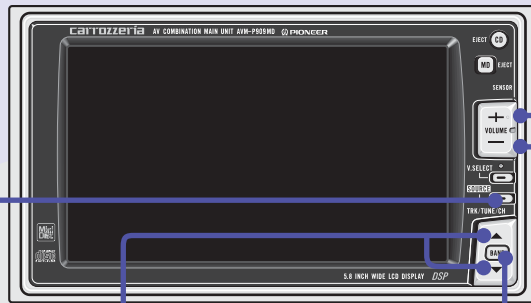
FM1 → FM2  
 ↑            ↓  
 AM2 ←      → AM1



FMとAMのどちらとも、より多くの放送局を記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できる周波数は1と2のどちらも同じです。)



ここだけ読めば  
すぐ使えます



### 3 放送局を選局する



低い周波数の放送局  
を選局する



高い周波数の放送局  
を選局する



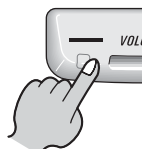
受信周波数

#### 選局方法の使い分け

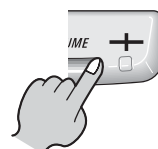
手動選局 (1ステップずつ)	0.3秒以内
自動選局	0.3秒から2秒の間
手動選局 (連続)	2秒以上押し続け ている間

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

### 4 音量を調節する



小さくするとき



大きくするとき



約4秒間、音量が表示されます。  
0 ~ 40の範囲で調節できます。

### 5 ラジオの受信をやめる

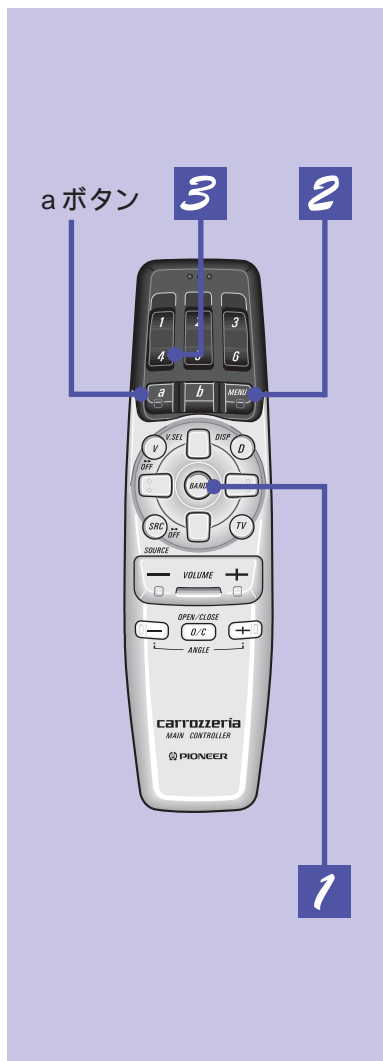
他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする。

ラジオを聞く

# 複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6ボタンに記憶させることができます。



## 1 記憶させるバンドを選ぶ (☞ 34ページ)

## 2 ソースメニューに切り換える (☞ 16ページ)



## 3 BSM を始める



BSM 中に表示されます。  
受信状態の良い放送局を自動的に記憶します。



記憶が終わると、記憶番号1に記憶した放送局を受信します。



ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。



受信中の記憶番号

### メモ

BSM を途中で解除するときは、もう一度4ボタンを押します。

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

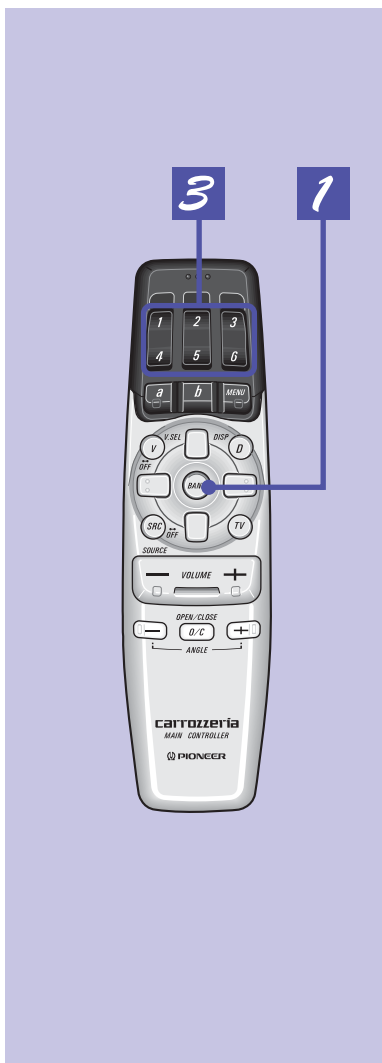
BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ 38ページ)

# 放送局を1局ずつ記憶させる

## プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手動で記憶させることができます。



**1** 記憶させるバンドを  
選ぶ (☞ 34ページ)

**2** 記憶させたい放送局を  
選局する (☞ 35ページ)

**3** 記憶させる



記憶させたい  
ボタンを2秒  
以上押す。



押したボタンの番号 (記憶番号)が  
表示されます。  
ピッと音が鳴り、受信中の放送局  
が記憶されます。

ラジオを聞く

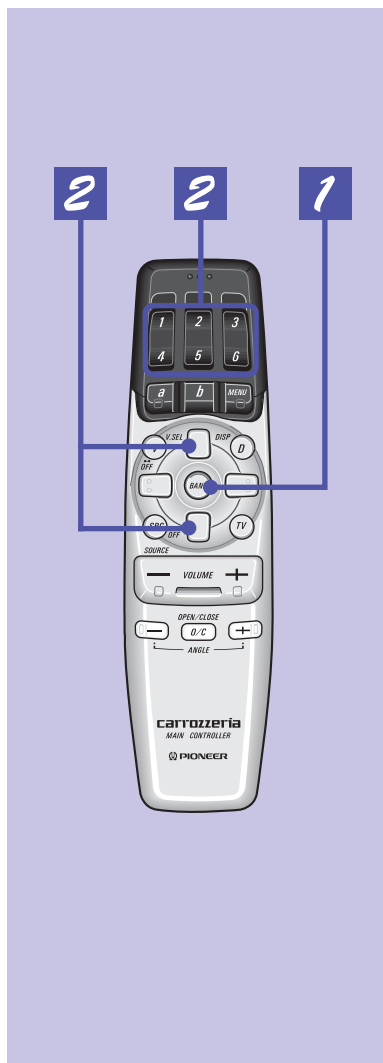
### メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞  
38ページ)

# 記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

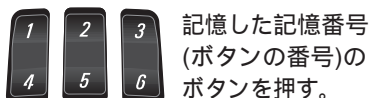
記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。



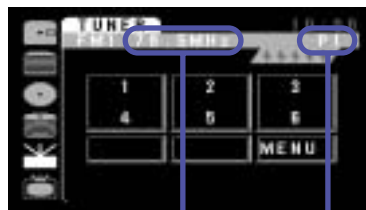
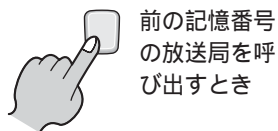
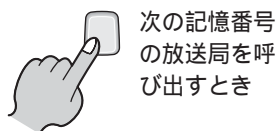
## 1 記憶させたバンドを 選ぶ (☞ 34 ページ)

## 2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す



記憶させた放送局を順番に呼び出す

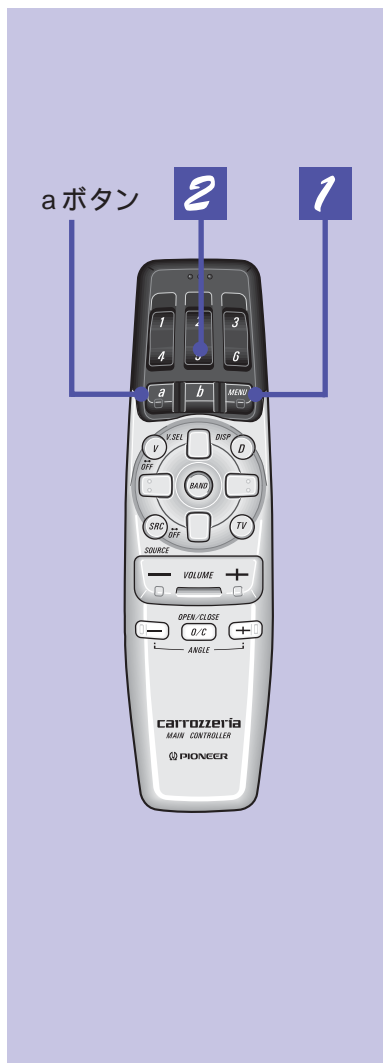


受信周波数 記憶番号

# 2つのアンテナでFM放送を受信する

ダイバーシティ

FMダイバーシティをお使いのときは、ダイバーシティの設定をONにします。ONにすると、メイン用アンテナの受信感度が悪いときは、自動的にサブ用アンテナに切り換えて受信します。



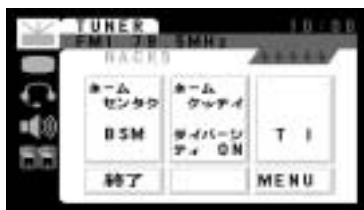
## ダイバーシティについて

FMダイバーシティは、FM放送を2つのアンテナで受信するものです。メイン用アンテナの受信感度が悪いときは、サブ用アンテナに切り換えて受信します。

FM放送を1つのアンテナで受信するときは、FMダイバーシティをOFFでお使いください。ONで使うと、感度が悪くなったり、雑音が増加したりすることがあります。

1

## ソースメニューに切り換える (16ページ)

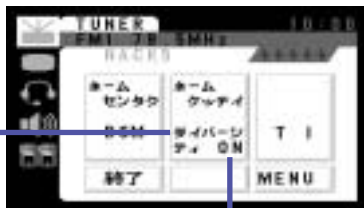


2

## ダイバーシティを設定する



押すごとにダイバーシティの設定がON/OFFします。



ON/OFFが表示されます。

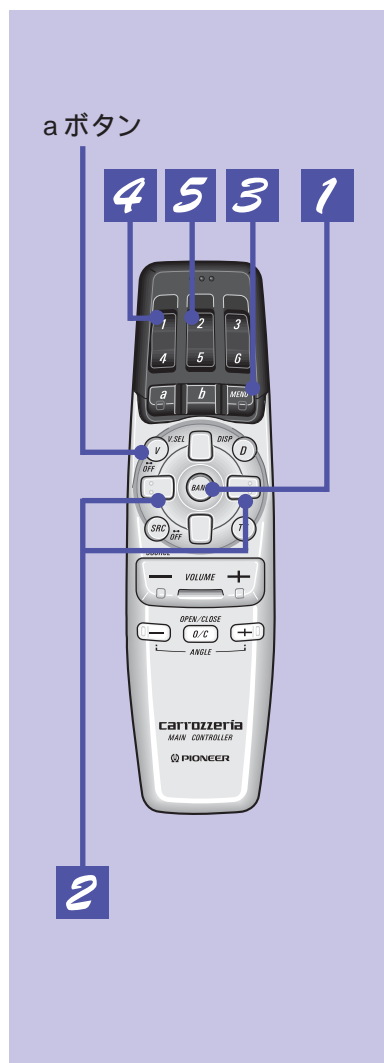


ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

ラジオを聞く

# 放送局名を記憶させる

ラジオの放送局名を表示させるために、あらかじめ放送局名を記憶させておきます。



## 放送局名表示について

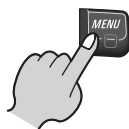
放送局名表示は、受信中の周波数に該当する放送局名を記憶させておき、モニターに表示させる機能です。

FMで12局分、AMで12局分記憶することができます。それぞれのバンドで記憶できる局数を超えたときは、いちばん古い記憶が消されます。

### 1 記憶させるバンドを選ぶ (☞ 34ページ)

### 2 表示させたい放送局を選局する (☞ 35ページ)

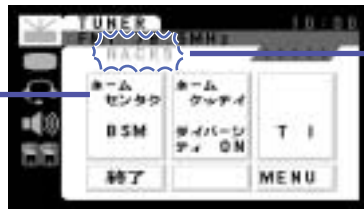
### 3 ソースメニューに切り換える (☞ 16ページ)





## 4 放送局名を選ぶ

1  
押すごとに表示  
されます。

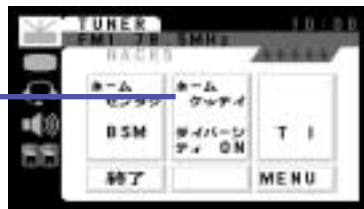


受信中の周波数に該当する放送局名が点滅表示されます。

本機に登録されていない放送局名は“NO DATA”と表示されます。

## 5 放送局名を記憶する

2



点滅が止まり、放送局名が記憶されます。



ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。



記憶した放送局名が表示されます。

ラジオを聞く

### メモ

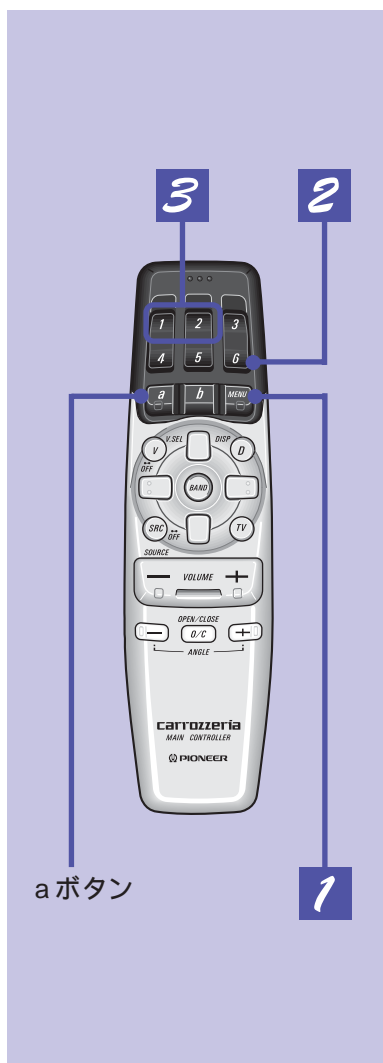
選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、“-----” (全て空白) を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD(「CDX-FM1237S」など)をお使いの方は、モジュレーターの周波数にあわせると、“FM M-CD”の放送局名を選ぶことができます。

# 交通情報を受信する

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。



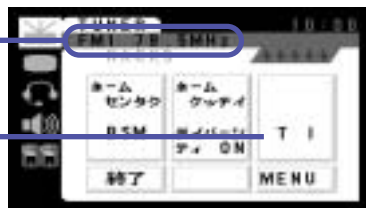
a ボタン

## 1 ソースメニューに切り換える (☞ 16ページ)



## 2 交通情報を受信する

受信周波数



## 3 受信周波数を変更する



希望する周波数の対応するボタンを押します。



交通情報を解除するには、aボタンを押して終了してください。

### メモ

交通情報は1つのソースとして音量を調節できます。(☞ 35ページ)

学習ボタンに交通情報を記憶させ、直接交通情報呼び出すこともできます。(☞ 96ページ)



ラジオを聞く

# テレビのふだんの操作

## バンドを選ぶ

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。

### 1 ソースをテレビにする

(☞ 14ページ)



テレビになるまでボタンを押す。



テレビになるまでボタンを押す。

#### メモ

ビジュアルセレクト (☞ 103ページ) で映像をDVDナビゲーションやビデオにしてある場合は、SOURCEボタンを押しても、音声しか切り換わりません。

テレビの映像が表示されます。



テレビの受信状態が表示されます。

### 2 バンドを選ぶ



押すごとにバンドが切り換わります。

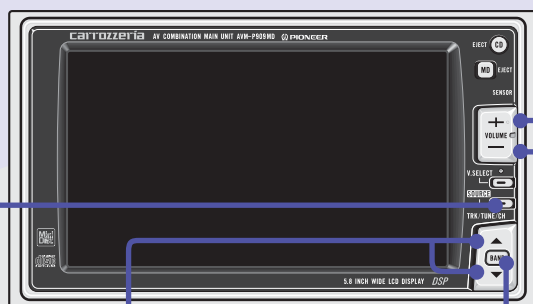
TV1 → TV2



より多くのチャンネルを記憶できるように、1と2のバンドに分かれています。(受信できるチャンネルは1と2のどちらも同じです。)



ここだけ読めば  
すぐ使えます



### 3 見たいチャンネルを選ぶ



チャンネルを小さくする



チャンネルを大きくする

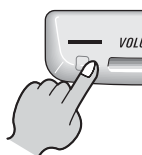
受信チャンネルは1～62まであります。



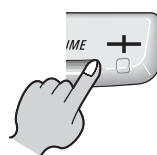
#### 選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.3秒以内
自動選局	0.3秒から2秒の間
手動選局 (連続)	2秒以上押し続けている間

### 4 音量を調節する



小さくするとき



大きくするとき



約4秒間、音量が表示されます。  
0～40の範囲で調節できます。

### 5 テレビの受信をやめる

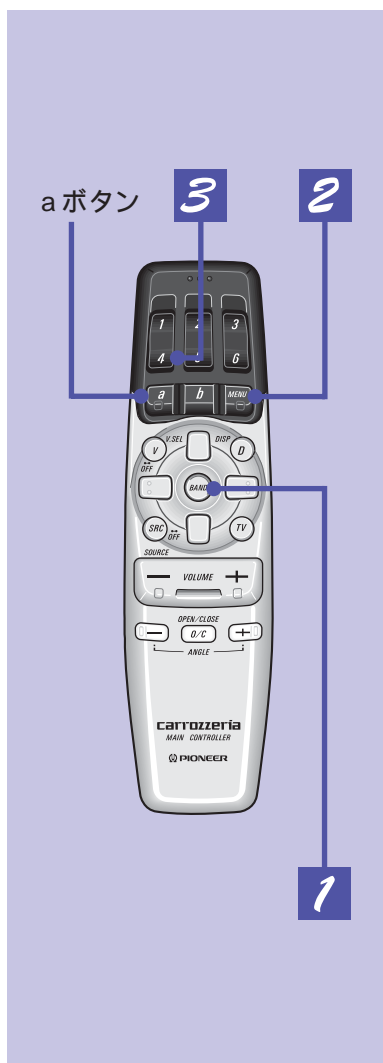
他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする。

テレビを見る

# 複数のチャンネルを自動的に記憶させる

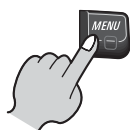
BSSM

受信状態の良いチャンネルをさがして、自動的に、チャンネルの小さい順に記憶します。TV1とTV2でそれぞれ12局を一度に記憶します。(TV1のバンドには、あらかじめVHF1～12chが記憶されています。)



## 1 記憶させるバンドを選ぶ ( 44 ページ)

## 2 ソースメニューに切り換える ( 16 ページ)



## 3 BSSM を始める



BSSM 中に表示されます。受信状態の良いチャンネルを自動的に記憶します。



記憶が終わると、記憶番号1に記憶したチャンネルを受信します。



ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。



受信中の記憶番号

### メモ

BSSMを途中で解除するときは、もう一度4ボタンを押します。

受信状態の良いチャンネルが、12局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

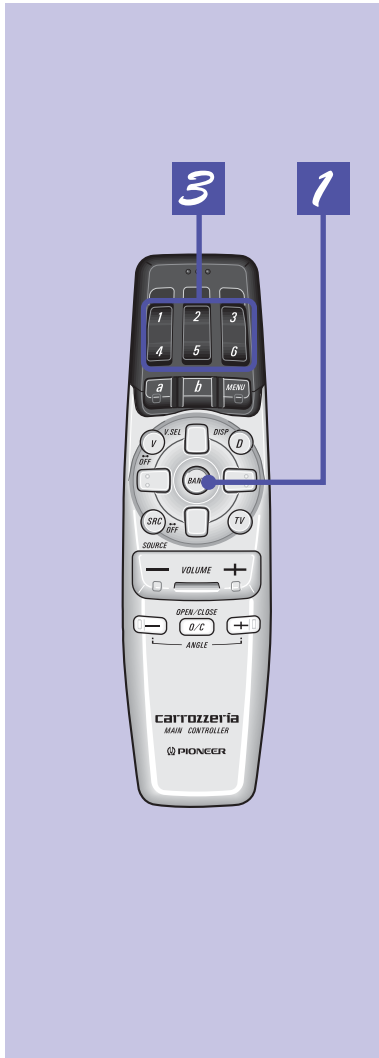
BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)の略です。

記憶させたチャンネルを呼び出すには ( 48 ページ)

# チャンネルの記憶を変更する

プリセットメモリー

ご自分の地域に合わせてチャンネルを記憶させたいときは、チャンネルを記憶しなおしてください。TV1とTV2でそれぞれ1～6ボタン（記憶番号のP1～P6）に6局ずつ記憶できます。



**1** 記憶させるバンドを  
選ぶ (☞ 44ページ)

**2** 記憶させたいチャンネルを  
選局する (☞ 45ページ)

**3** 記憶させる



記憶させたい  
ボタンを2秒  
以上押す。



押したボタンの番号（記憶番号）が  
表示されます。  
ピッと音が鳴り、受信中のチャン  
ネルが記憶されます。

テレビを見る

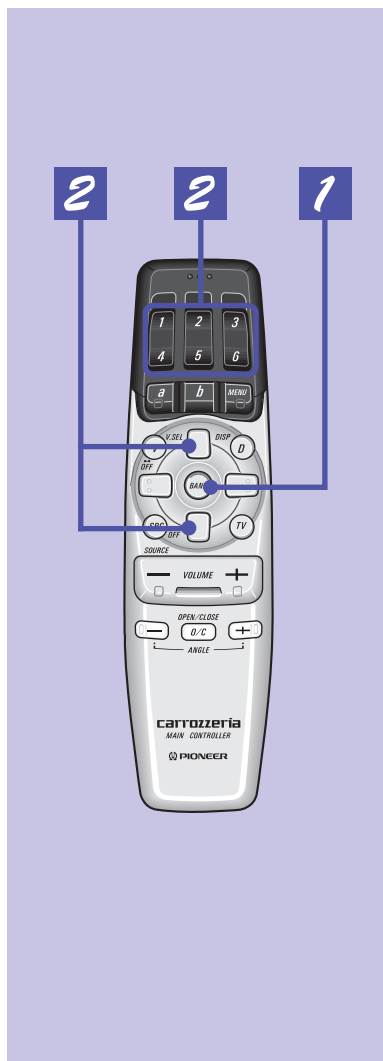
## メモ

記憶させたチャンネルを呼び出すには  
(☞ 48ページ)

# 記憶させたチャンネルを呼び出す

プリセットチューニング

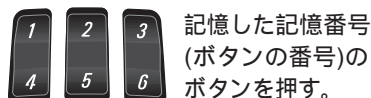
記憶させたチャンネルは、簡単に呼び出すことができます。



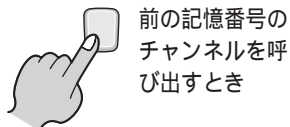
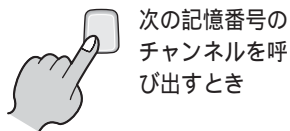
## 1 記憶させたバンドを選ぶ (▶▶▶ 44 ページ)

## 2 記憶させたチャンネルを呼び出す

1 ~ 6 ボタンに記憶させたチャンネルを直接呼び出す



記憶させたチャンネルを順番に呼び出す



受信チャンネル 記憶番号

### メモ

1 ~ 6 ボタンでは、記憶番号の P7 ~ P12 は直接呼び出すことはできません。

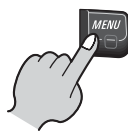


# ナビゲーションやビデオを設定する

ソースでTVを選ぶとDVDナビゲーションやビデオなど (VTR) を見ることができます。



## 1 ソースメニューに切り換える (☞ 16ページ)



## 2 見たいソースを選ぶ



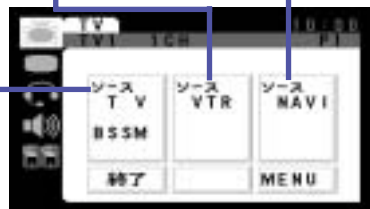
押すとTVになります。



押すとビデオなど (VTR) になります。



押すとDVDナビゲーションになります。



ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

テレビを見る

### メモ

DVDナビゲーションやビデオを見ながらCDを聞くなど、異なるソースの映像と音声を同時に楽しむことができます。(☞ 103ページ)

“ソースVTR”、“ソースNAVI”の黒字で表示されているソースのみ、手順2で選ぶことができます。黒字で表示されていないときは、DVDナビゲーションまたはVTRは設定を“ON”にしてから(☞ 100ページ)電源を入れてください。

ガイド音声の設定を“ON”にすると今聞いているソースと一緒に、車のスピーカーからDVDナビゲーションのガイド音声を聞くことができます。(☞ 94ページ)

TVボタンからもビデオなど (VTR) を見ることはできます。(☞ 14ページ)

ガイド音声ミュートの設定を“ON”にするとDVDナビゲーションのガイド音声が聞き取りやすいように、今聞いているソースの音声を下げることができます。(☞ 95ページ)

DVDナビゲーションを表示しているときに、SOURCEボタンを2秒以上押してもナビゲーション画面はOFFになりません。ナビゲーション画面もOFFにする場合は、もう一度SOURCEボタンを2秒以上押します。

# マルチCDのふだんの操作

CDを選ぶ

ここだけの操作で、マルチCDを聞くことができます。

## 1 ソースをマルチCDにする (14ページ)



マルチCDになるまでボタンを押す。

マルチCDの再生が始まります。



## 2 聞きたいCDを選ぶ



次のCDを選ぶとき



前のCDを選ぶとき



CD番号

### マルチCDを2台以上 接続したときは

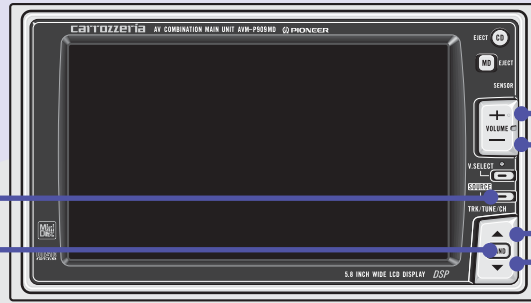
再生するマルチCDを選ぶことができます。メインコントローラーのBANDボタンを押すごとに、次のマルチCDの再生に切り換わります。



曲を選ぶ 早送り/早戻しをする 音量を調節する

ディスクサーチ / トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば  
すぐ使えます



### 3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)



前の曲を選ぶとき  
(または早戻し)



次の曲を選ぶとき  
(または早送り)



曲番号

再生経過時間

#### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

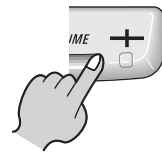
聞きたい曲の選択 0.5秒以内

曲の早送り/早戻し 0.5秒以上押し続け  
ている間

### 4 音量を調節する



小さくするとき



大きくするとき



約4秒間、音量が表示されます。

0 ~ 40の範囲で調節できます。

### 5 マルチCDの 再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする。

マルチCDでCDを聞く

#### メモ

別売のIP-BUS拡張アダプター「CD-P33」などを使うと、複数のマルチCDを接続できます。接続できる台数については、IP-BUS拡張アダプターの説明書をご覧ください。(「CDX-P630S」のように、2台以上接続することができないマルチCDがあります。)

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「NO MAGZINE」が表示されます。

マルチCDが準備動作(CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど)をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると「READY」が表示されます。

# 聞きたいCDを直接選ぶ (6/12枚)

ダイレクトサーチ

聞きたいCDをワンタッチで切り換えることができます。

チェック 6連奏 / 12連奏マルチCDプレーヤーの機能です。

1 ~ 6 ボタン



## 聞きたいCDを選ぶ



CD 番号

1 ~ 6枚 / 7 ~ 12枚の使い分け

1 ~ 6枚目を選ぶ 2秒以内

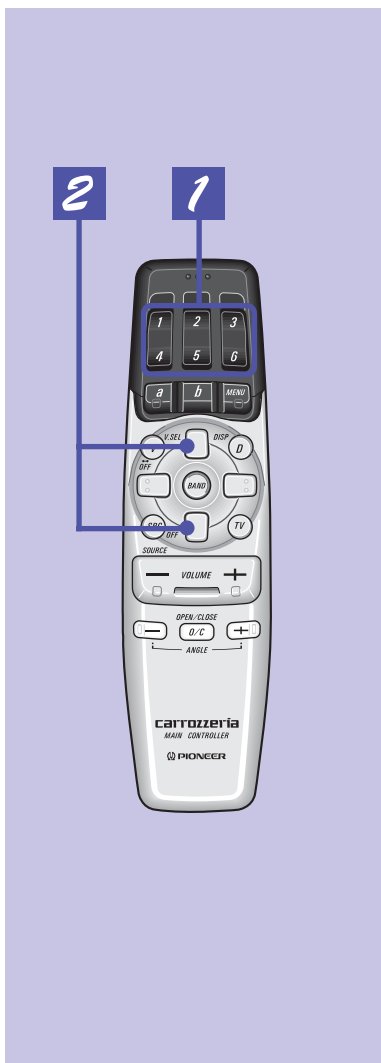
7 ~ 12枚目を選ぶ 2秒以上

# おおまかに選んでから聞きたいCDを選ぶ (50枚)

ラフサーチ

聞きたいCDの10の位の数字を合わせることができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



## 1 聞きたいCDをおおまかに選ぶ



CD番号

### ボタンの使い分け

10 ~ 19 枚目を選ぶ	1 ボタン
20 ~ 29 枚目を選ぶ	2 ボタン
30 ~ 39 枚目を選ぶ	3 ボタン
40 ~ 49 枚目を選ぶ	4 ボタン
50 ~ 51 枚目を選ぶ	5 ボタン

## 2 聞きたいCDを選ぶ



前のCDを  
選ぶとき



CD番号



次のCDを  
選ぶとき

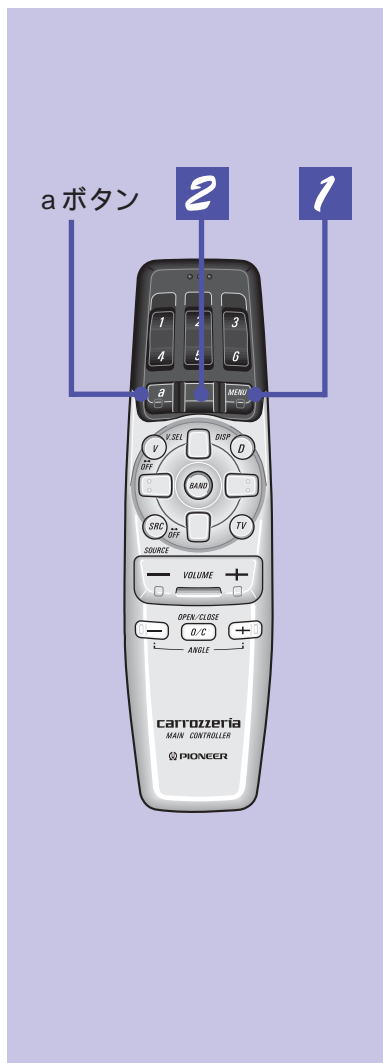
マルチCDでCDを聞く

# ソースメニューの切り換えかた (50枚)

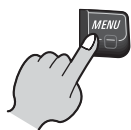
## ソースメニュー切り換え

50連奏マルチCDは、操作する内容別に3種類のソースメニューがあります。行いたい操作に合ったソースメニューに切り換えてください。

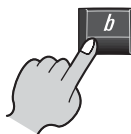
チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



### 1 ソースメニューに切り換える (16ページ)



### 2 ソースメニューを切り換える



押すごとに次のように切り換わります。

ソースメニュー1



ソースメニュー2



ソースメニュー3

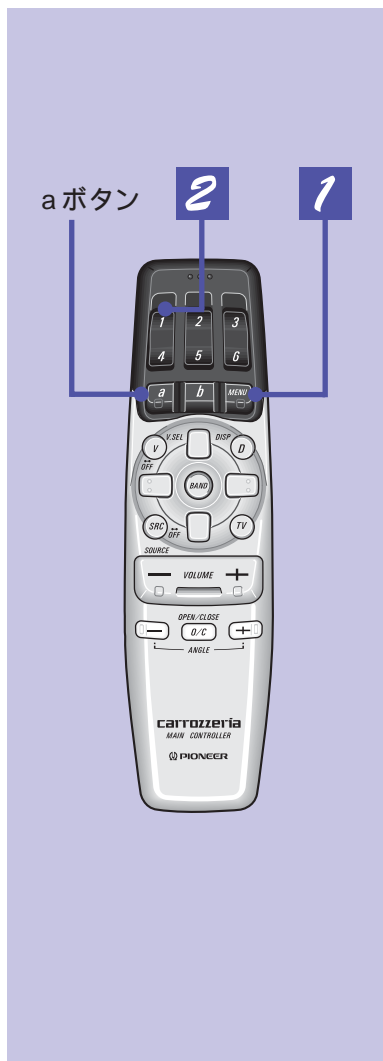


ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

# 同じ曲やCDを繰り返し聞き

## リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。



### 再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラック	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスク	再生中のCDを繰り返し再生します。
マガジン	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。 (通常はこのモードにしておきます。)

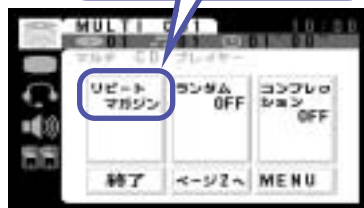
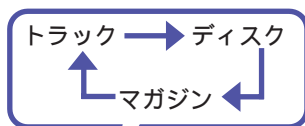
### 1 ソースメニュー1に切り換える (16ページ)



### 2 再生範囲を切り換える



押すごとに次のように切り換わります。



マルチCDでCDを聞く

### メモ

マルチCDを2台以上接続したときは、マガジンの次に、オールに切り換わります。オールにすると、接続したすべてのマルチCDを通して再生します。

ソース画面中にも設定が表示されます。

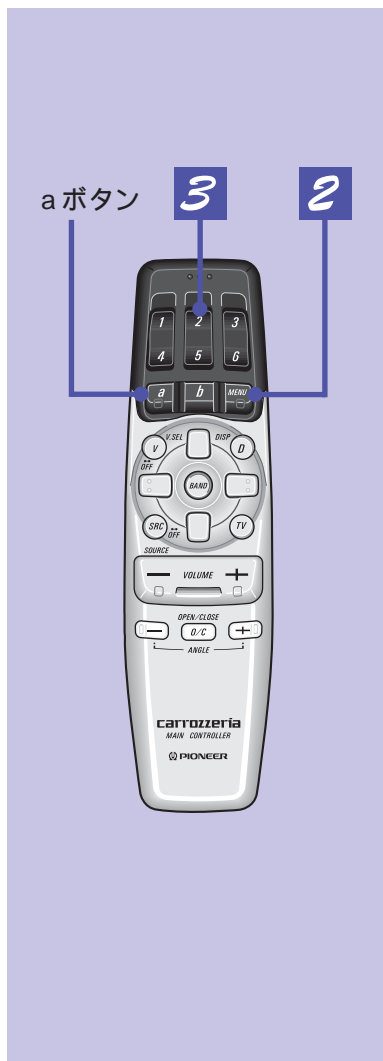
ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。



# いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

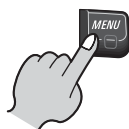
選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。



## 1 リピートモードにして 再生範囲を選ぶ (👉 55ページ)

選んだ再生範囲でランダム再生が行われます。

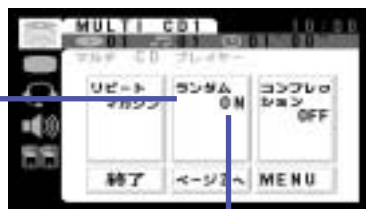
## 2 ソースメニュー 1 に 切り換える (👉 16ページ)



## 3 ランダム再生を始める



押すごとにランダム再生がON/OFFします。



ON/OFFが表示されます。



ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。



ソース画面中にも設定が表示されます。

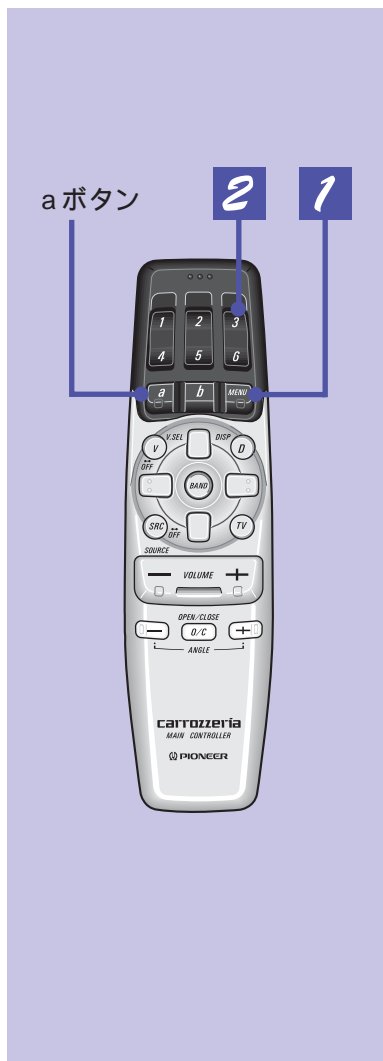


# CDの音質を調整する

## コンプレッション

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりするときに調整します。COMPもDBEも2段階に切り換えられますが1より2のほうが、より効果があります。

チェック コンプレッション機能の付いたマルチCD(「CDX-P620S」など)で操作できます。



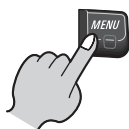
### COMP

COMPとはCompression(コンプレッション)の略です。COMP機能は大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくするものです。この機能は、小さな音が聞き取りにくいときにお使いになると便利です。

### DBE

DBEとはDynamic Bass Emphasis(ダイナミックバスエンファシス)の略です。DBE機能は、車内で不足がちな低音を押し上げるものです。

## 1 ソースメニュー1に切り換える (☞ 16ページ)



## 2 機能を選ぶ



押すごとにコンプレッションが切り換わります。



マルチCDでCDを聞く

### メモ

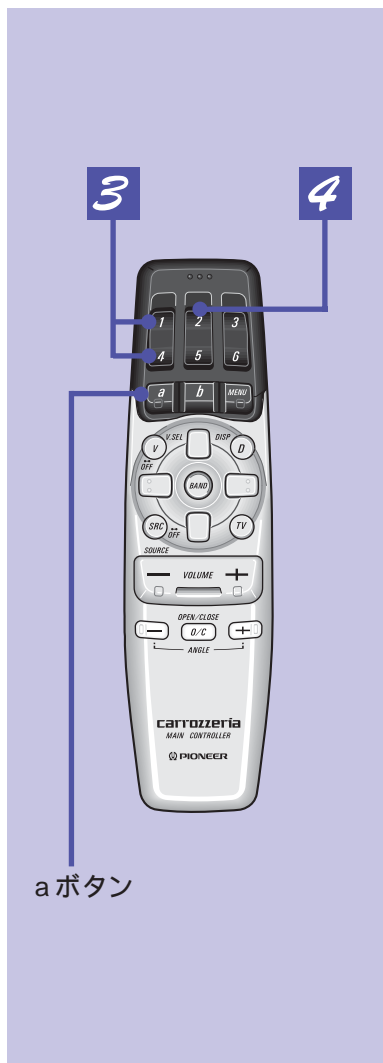
コンプレッション機能の付いていないマルチCDでは、ソースメニュー1にコンプレッションの項目は表示されません。

ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

# CDをグループ分けする (50枚)

聞きたいグループ (ジャンル) のCDだけを再生する (☞ 60ページ) ために、あらかじめCDをグループ分けしておきます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



## グループ分けについて

グループ分けは、聞きたいCDをグループごとに記憶させておき、それを再生する (☞ 60ページ) 機能です。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。

グループ分けは、CD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、記憶してから再生していないCDの中で、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

マルチCDを2台以上接続したときも、記憶できるCDの枚数は増えません。

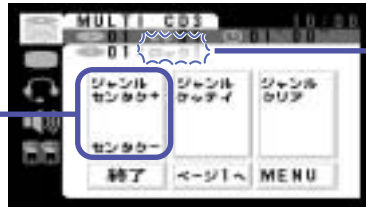
**1** グループ分けさせたい  
CDを再生する (☞ 50ページ)

**2** ソースメニュー3に  
切り換える (☞ 54ページ)



### 3 グループを選ぶ

押すごとにグループ名が切り換わります。



選んでいるグループが点滅表示されます。

次のようなグループがあります。

ロック1	ロック2	ポップス1	ポップス2
ジャズ	フュージョン	クラシック	グループ1
グループ2	グループ3		

### 4 記憶させる



点滅が止まると記憶終了です。



ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

# グループ別で再生する (50 枚)

ミュージックグループ別再生

グループ分け (☞ 58ページ) されたCDだけを再生することができます。

チェック 50 連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



## 1 ソースメニュー 2 に切り換える (☞ 54ページ)



## 2 グループを選ぶ



押すごとにグループが切り換わります。



## 3 グループ別再生を始める



押すごとにグループ別再生を ON / OFF します。



ON/OFF 表示がされます。



ソースメニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。



ソース画面中にも設定が表示されます。

### メモ

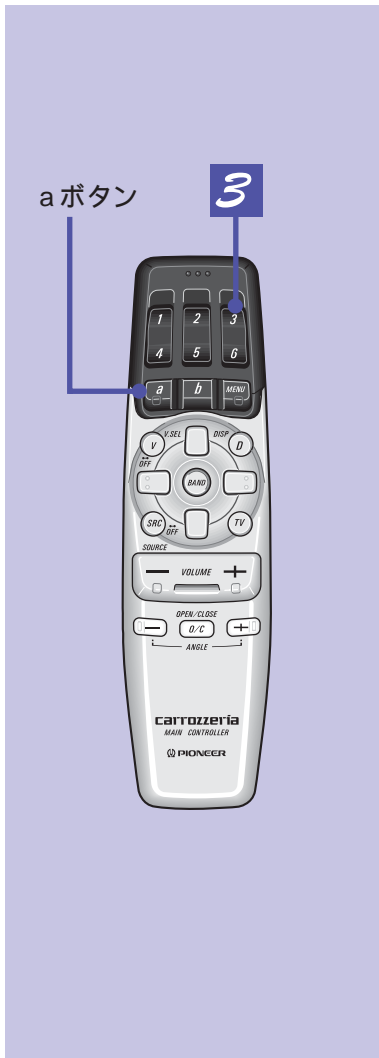
選んだグループにCDが記憶されていない場合は、“NO GROUP”が約2秒間表示されます。

# CD をグループから消す (50 枚)

ミュージックグループ別消去

グループ分けされたCDをグループから消すことができます。

チェック 50 連奏マルチCD プレーヤーの機能です。



1 消去したいCDを再生する (☞ 50 ページ)

2 ソースメニュー 3 に切り換える (☞ 54 ページ)



3 グループを消去する



↓

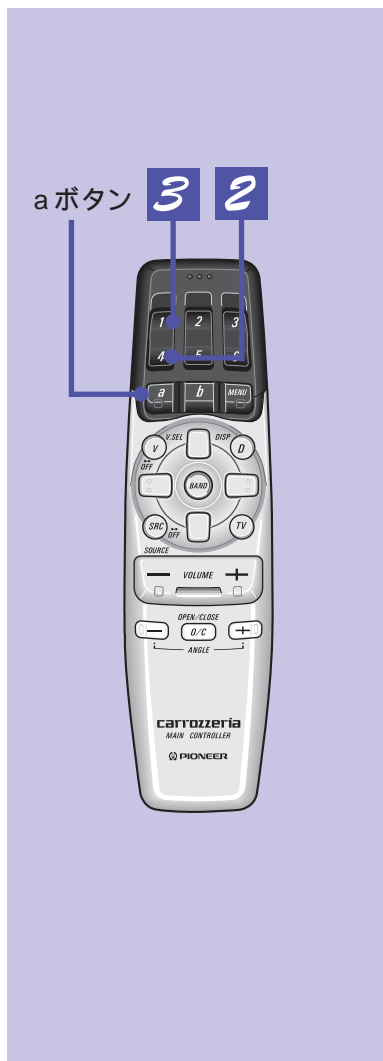
ソースメニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

マルチCDでCDを聞く

# 演奏頻度でCDを再生する (50枚)

日ごろよく聞くCDやあまり聞かないCDを、頻度順に再生することができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



## 演奏頻度別再生について

演奏頻度別再生は、マガジンにセットされているCDの再生された頻度により、よく聞くCD順 (MOST) または、あまりよく聞かないCD順 (LEAST) に再生する機能です。

### 1 ソースメニュー2に切り換える (👉 54ページ)



### 2 頻度別を選ぶ



押すごとに頻度が切り換わります。



### 3 頻度別再生を始める



押すごとに頻度別再生をON /OFFします。



ON/OFFが表示されます。



ソースメニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

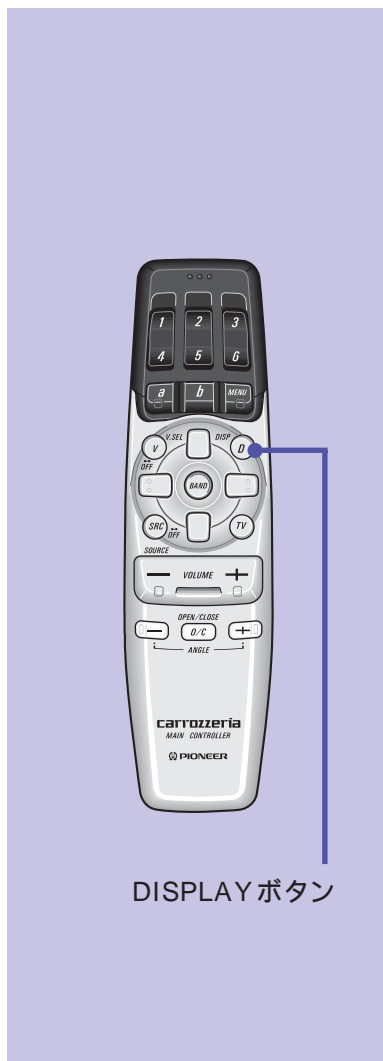


ソース画面中にも設定が表示されます。

# CD TEXT を表示する

「CD TEXT」再生中にディスク名 / 歌手名 / 曲名といったタイトルをそれぞれ表示させることができます。

チェック CD TEXT機能の付いたマルチCD（「CDX-P1240TX」など）で操作できます。



## 表示を切り換える



押すごとに次のように切り換わります。

ディスク名前 (ディスク名)



ディスクアーティスト名 (歌手名)



トラック名 (曲名)



トラックアーティスト名 (歌手名)



## メモ

「CD TEXT」とは、ディスク名 / 歌手名 / 曲名などの文字情報が記録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークの付いているCDは「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)





## 隠れているタイトルを表示する (タイトルスクロール)

ディスク名 / 歌手名 / 曲名はモニターに16文字までしか表示されませんが、隠れている文字を順番に表示させることができます。

## 隠れているタイトルを表示する



2秒以上押します。



隠れている文字が順番に表示されていきます。

## メモ

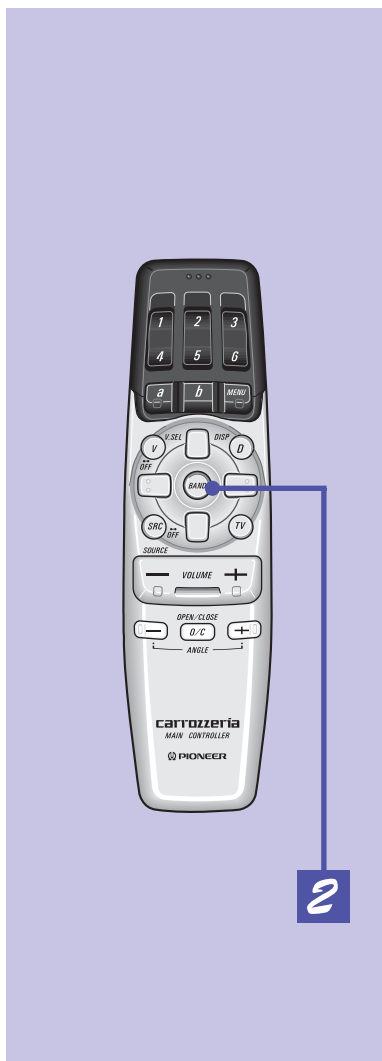
タイトルスクロール中に、DISPLAYボタンを押すとタイトルスクロールが解除されます。

# 選んだCDを取り出す (50枚)

CDイジェクト

選んだCDをマガジンからエクストラトレイに移して、1枚ずつ取り出すことができます。

チェック 50連奏マルチCDプレーヤーの機能です。



**1** 取り出したいCDを再生する (☞ 50ページ)

**2** CDをエクストラトレイに移動する



2秒以上押し  
ます。

**3** CDをエクストラトレイから取り出す

CDの取り出しかたについては、50連奏マルチCDプレーヤーの説明書をご覧ください。

## メモ

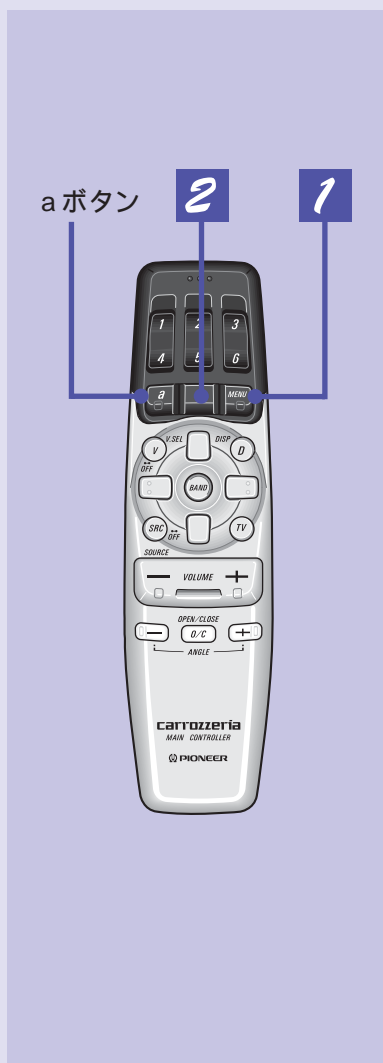
すでにエクストラトレイにCDが入っているときは動作しません。



# オーディオ調節メニューの切り換えかた

## オーディオ調節メニュー切り換え

音質を調節するときは、オーディオ調節メニューを切り換えて操作します。



### 1 オーディオ調節メニューを表示させる ( 16 ページ )



### 2 オーディオ調節項目を切り換える



押すごとに次のように切り換わります。

- FAD/BAL  
(音量バランス調節)
- ↓
- SUB.W1  
(サブウーファー機能のON/OFF)
- ↓
- SUB.W2  
(サブウーファー調節)
- ↓
- LOUD  
(ラウドネス機能のON/OFF)
- ↓
- SLA  
(SLA レベル調節)

#### メモ

サブウーファー機能 ( 70 ページ ) を OFF しているときは、サブウーファー調節には切り換わりません。

初期設定メニューで RCA 出力切り換え ( 102 ページ ) をリアに設定しているときは、サブウーファー機能とサブウーファー調節には切り換わりません。

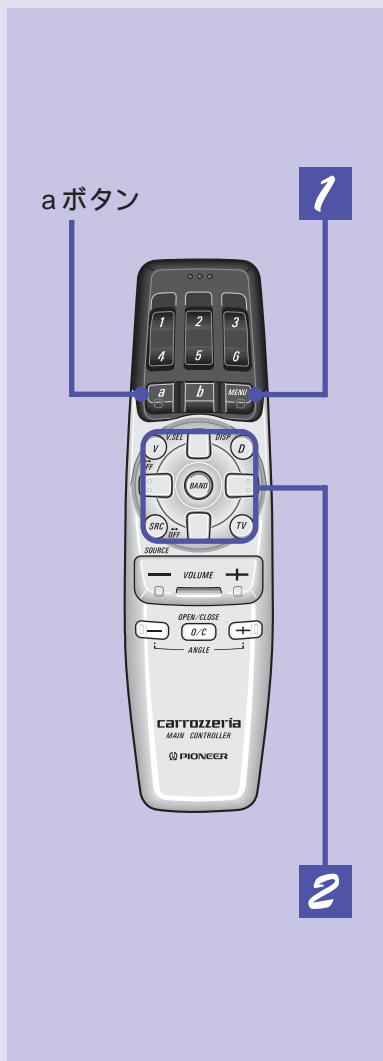
ソースが FM ラジオのときは、SLA は設定できません。(表示されません。)

オーディオ調節メニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

# 前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。



## 1 オーディオ調節項目を [FAD/BAL] にする (16 ページ)



## 2 音量バランスを調節する

前後を調節する



前を強めるとき



後ろを強めるとき



前後のバランスはF25 ~ R25の範囲で調節できます。

左右を調節する



左を強めるとき



右を強めるとき



左右のバランスはL25 ~ R25の範囲で調節できます。

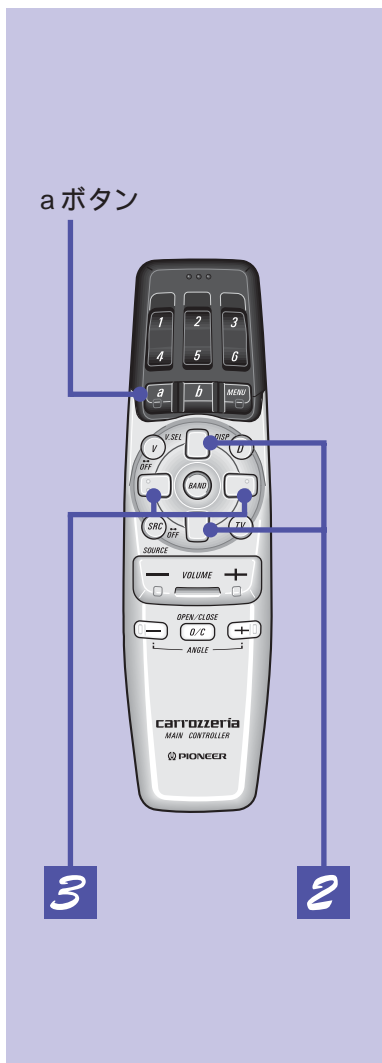


オーディオ調節メニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

# サブウーファーを使う

サブウーファーの出力をON/OFFしたり、位相の設定をすることができます。

チェック サブウーファーを組み合わせたときの機能です。



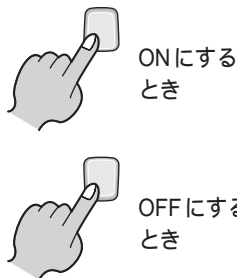
## サブウーファーの位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアースピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相同士が反転（干渉）すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相（フロント/リアースピーカーと同時に出力される）が良いか、逆相（フロント/リアースピーカーとタイミングをずらして出力される）が良いかを選んで設定してください。

### 1 オーディオ調節項目を [ SUB.W1 ] にする ( 68ページ )



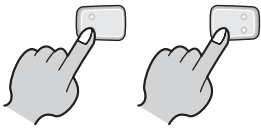
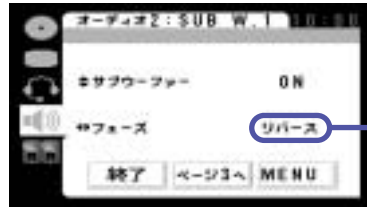
### 2 サブウーファーをONにする



ON/OFFが表示されます。

## 3

## 位相を切り換える

リバース  
(逆相)ノーマル  
(正相)ノーマル/リバースが表示され  
ます。

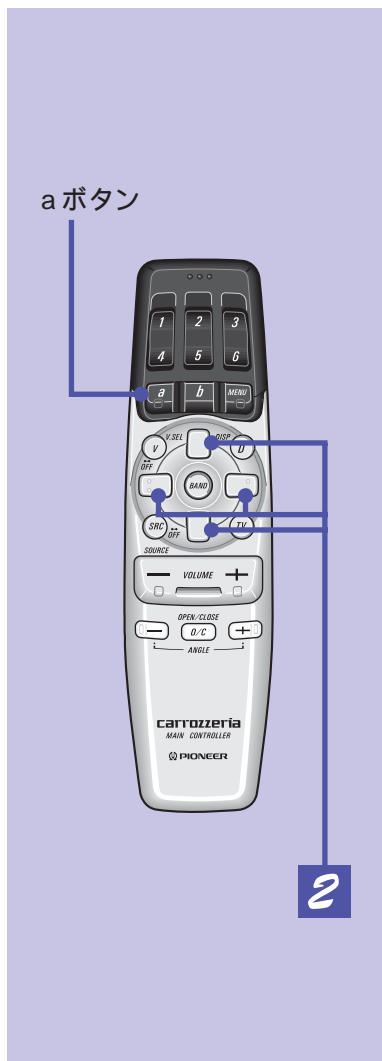
オーディオ調節メニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

# サブウーファーを調節する

## サブウーファー調節

サブウーファーの出力をONにすると (☞ 前ページ)、カットオフ周波数、出力レベルの設定をすることができます。

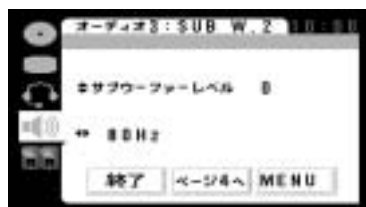
チェック サブウーファーを組み合わせたときの機能です。



### カットオフ周波数について

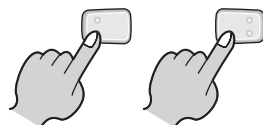
50、80、125 (単位: Hz) から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

## 1 オーディオ調節項目を [ SUB.W2 ] にする (☞ 68ページ)



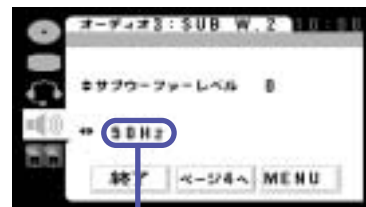
## 2 周波数とレベルを調節する

### 周波数を選ぶとき



低い周波数  
を選ぶとき

高い周波数  
を選ぶとき



周波数は50、80、125 (単位: Hz) の中から選ぶことができます。

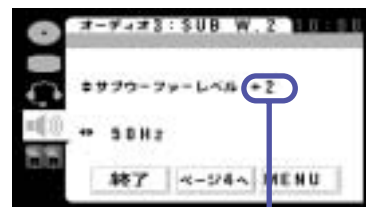
### レベルを調節するとき



レベルを大き  
くするとき



レベルを小さ  
くするとき



レベルは-6 ~ +6の範囲で調節できます。



オーディオ調節メニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。



# 小音量時の音にメリハリをつける

## ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

### 1 オーディオ調節項目を [LOUD] にする (☞ 68ページ)



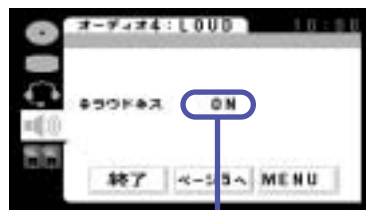
### 2 ラウドネスをONにする



ONにする  
とき



OFFにする  
とき



ON/OFFが表示されます。



オーディオ調節メニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

aボタン

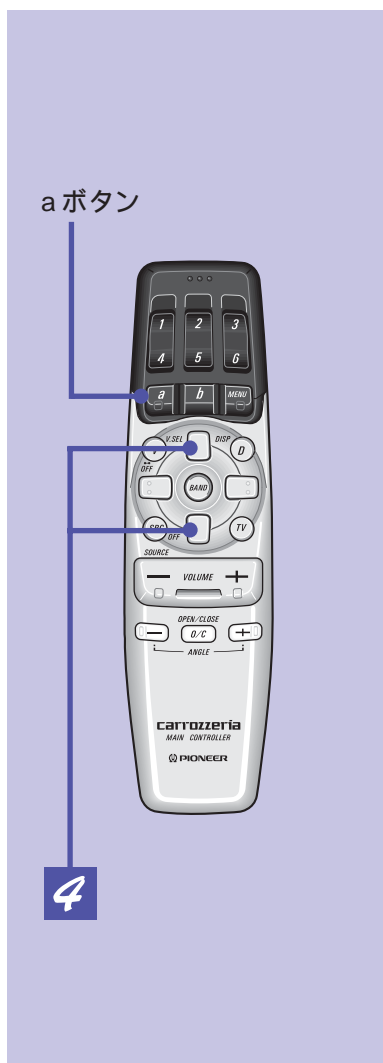


音を調節する

# 各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量にそろえることができます。



**1** FM 放送を受信し、FM の音量を確かめる (☞ 34 ページ)

**2** 調節したいソースに切り換える (☞ 14 ページ)

**3** オーディオ調節項目を [ SLA ] にする (☞ 68 ページ)



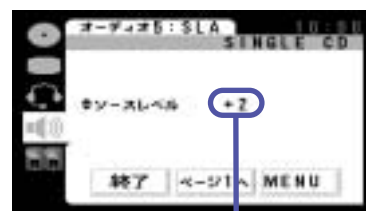
**4** レベルを調節する



レベルを大きくするとき



レベルを小さくするとき



レベルは-4 ~ +4 の範囲で調節できます。



オーディオ調節メニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。



# DSP を使おう

リアルな音場を再現したり、音響特性を補正したりして、リスニング環境をつくります。

## DSP について

DSPをお使いになると、リアルな音場の再現と同時に、車内の音響特性をフラットに補正し、理想的なリスニング環境を創造することができます。

DSPは、次の4つの機能を持っています。

SFC

デジタルイコライザー

サウンドエフェクター

リスニングポジションセレクター

DSPは、これらの機能を同時に使いこなすことで、豊かな音場と適切な音響特性を与えてくれます。

DSPは、ソースごとに選ぶことができます。(リスニングポジションセレクターは除く) なお、内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMDは同じ設定になります。

## SFC について

演奏会場での直接音・初期反射音・残響音の長さや質は、会場の広さや形状によって違ってくるため、その響きにはいろいろなものがあります。

SFCには、コンサートホールやスタジアムなど、6つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。まるでその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を体感することができます。

## デジタルイコライザーについて

車内空間は、その狭さや形状・材質によって、反射音に乱れを生じます。このためスピーカーから出た音には、周波数特性にピーク(強調)やディップ(減衰)が生じます。

グラフィックイコライザー機能は、周波数のレベルを自在に調節できるので、車内の音響特性をよりフラットに補正することができます。13ポイントの周波数を調節することができます。

## サウンドエフェクターについて

エフェクター機能により、音に特殊効果をかけて自分だけの曲を楽しむことができます。サウンドエフェクターには、オートパン、フランジャー、ウェーブの3つの効果があります。

## リスニングポジションセレクターについて

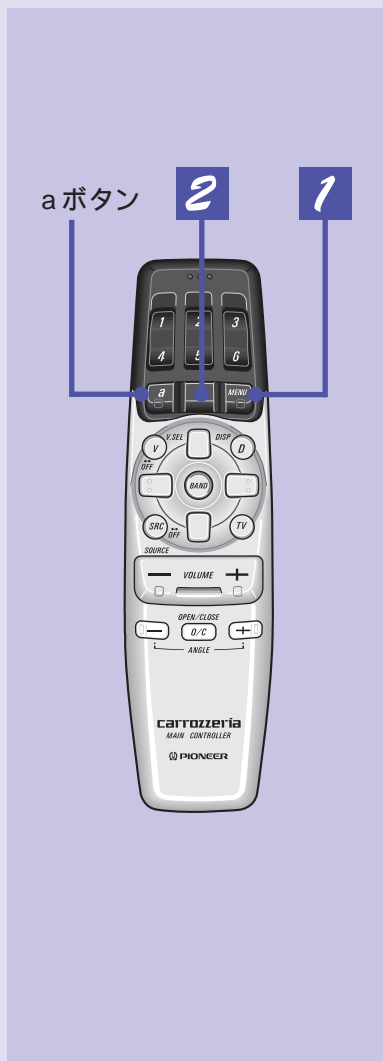
リスニングポジションセレクターは、ワンタッチで選ばれた座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。

この機能とSFCを組み合わせると、自然なリスニングポジションが得られるので、全身を包むような豊かな音場を体感することができます。

# DSP 調節メニューの切り換えかた

## DSP 調節メニュー切り換え

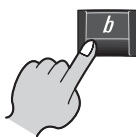
音場と音質を調節するときは、DSP 調節メニューを切り換えて操作します。



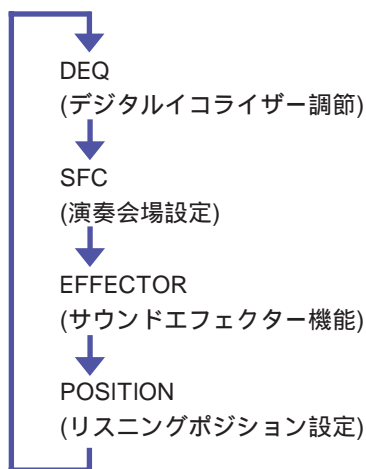
### 1 DSP 調節メニューを表示させる (16 ページ)



### 2 DSP 調節項目を切り換える



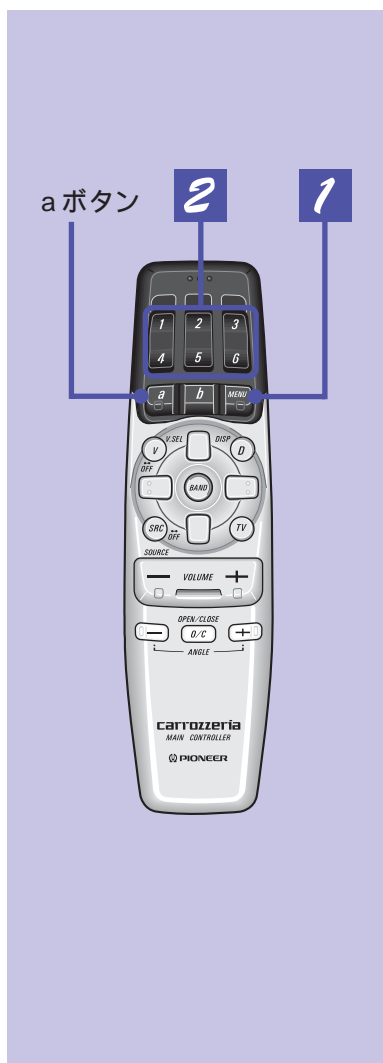
押すごとに次のように切り換わります。



DSP 調節メニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

# 音楽に合った音質を設定する

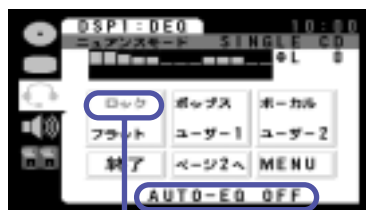
音楽ジャンルに合わせて用意されているものが4種類（ファクトリーカーブ）、自分で設定できるもの2種類（ユーザーズカーブ）の中からイコライザーカーブを選ぶことができます。



## 1 DSP 調節項目を [ DEQ ] にする (☞ 16ページ)



## 2 イコライザーカーブを選ぶ



AUTO-EQのON/OFF

選ばれたイコライザーカーブ名が赤く表示されます。







DSP 調節メニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

### メモ


オートイコライジング (☞ 90ページ) を行った場合、呼び出しているイコライザーカーブのボタンを押すごとに AUTO-EQのON/OFFができます。

## イコライザーカーブ

## ファクトリーカーブ

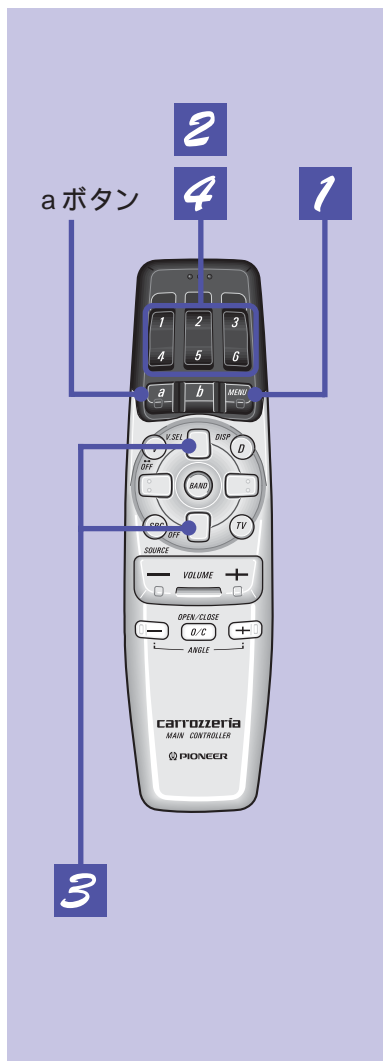
名称 (操作ボタン)	説明	表示
ロック (1ボタン)	ロックミュージックのリズムセクション帯域を中心に、低・高音域の不足感が補正された迫力ある音になるように設定されています。	
ポップス (2ボタン)	特に中音域を強調し、軽快なポップスサウンドが楽しめるように設定されています。	
ボーカル (3ボタン)	音声帯域部分を強調し、さらに明瞭度を上げるように低音域を抑えています。ボーカルを強調したり、アナウンスを聞いたりするときにお使いください。	
フラット (4ボタン)	何の補正もしていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、効果を確認するのに使くと便利です。	

## ユーザーズカーブ

名称 (操作ボタン)	説明	表示
ユーザーズ1、2 (5、6ボタン)	イコライザーカーブを好みに調節して (80、82ページ) 記憶させることができます。	

# イコライザーカーブをおおまかに補正する

用意されているイコライザーカーブ（ファクトリーカーブ）の効果を、お好みに合わせておおまかに強めたり弱めたりすることができます。



## 1 DSP 調節項目を [ DEQ ] にする (☞ 16ページ)



## 2 イコライザーカーブを選ぶ (☞ 78ページ)

ファクトリーカーブのフラットを補正することはできません。

## 3 イコライザーカーブを補正する



強めるとき



弱めるとき



レベルは最大-6 ~ +6の範囲で調節できます。

### メモ

レベル調節できる範囲は、イコライザーカーブによって異なります。



## 4 補正したイコライザー カーブを記憶する



記憶させたいボ  
タンを2秒以上  
押す。



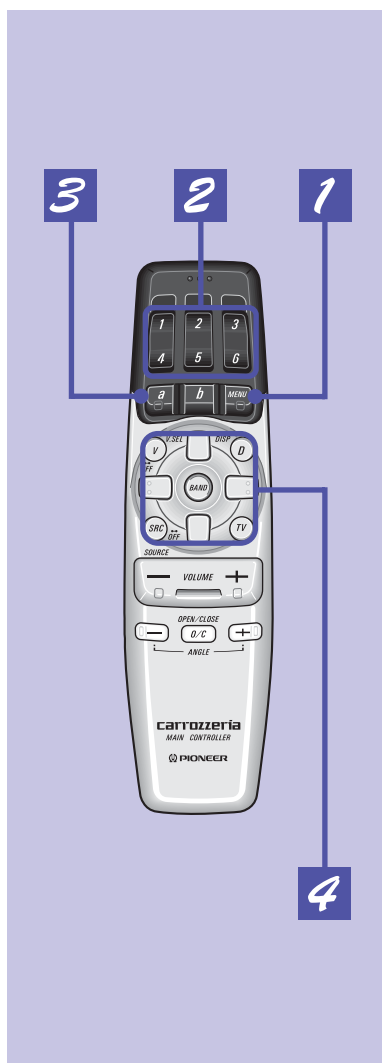
記憶されるとピッと音が鳴り  
ます。



DSP調節メニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

# イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザーカーブの各周波数のレベルを調節することができます。



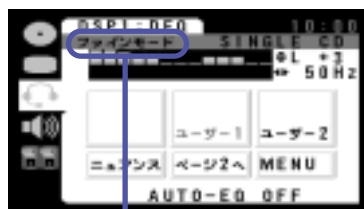
## 1 DSP 調節項目を [ DEQ ] にする (☞ 16ページ)



## 2 イコライザーカーブを選ぶ (☞ 78ページ)

ファクトリーカーブのフラットを調節することはできません。

## 3 ファインモードにする



ファインモードが設定されたことを表示されます。

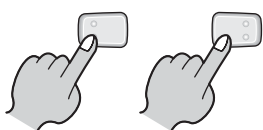
### ファインモードについて

ユーザーズカーブを選ぶと、a ボタンにより、ファインモードを設定することができます。ロックやポップスなど、ファクトリーカーブをもとに細かく調節する場合は、一度ユーザーズカーブに記憶 (☞ 81ページ) してから、ファインモードを設定し調節してください。

## 4 イコライザーカーブを調節する

調節した内容がそのままユーザーズカーブに記憶されます。

### 周波数を選ぶ



選んだ周波数が表示されます。

周波数は、次の中から選べます。

50	80	125	200	315
500	800	1k	2k	3k
5k	8k	13k		

### レベルを調節する



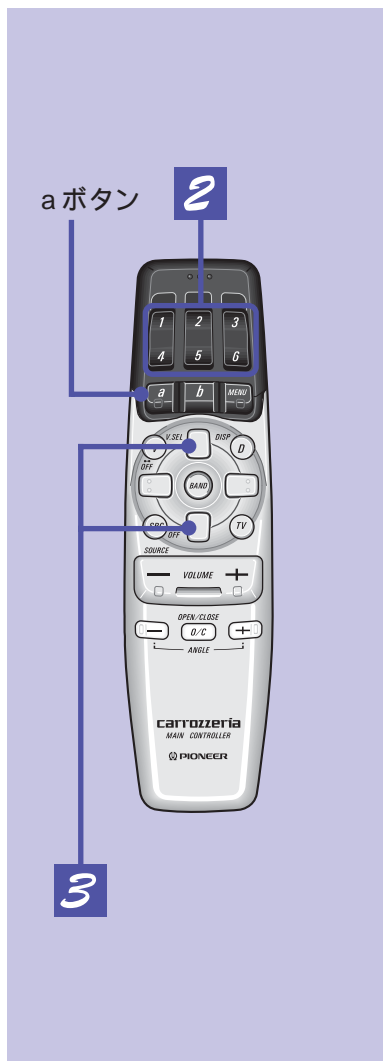
レベルは-6 ~ +6の範囲で調節できます。



DSP調節メニューを解除するには、bボタンやMENUボタンを押して、終了を表示させてからaボタンを押して終了してください。

# イメージに合った演奏会場を再現する

実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。  
サウンドエフェクター機能と同時に設定することはできません。

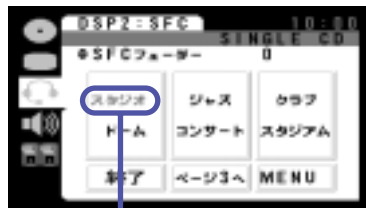


## 1 DSP 調節項目を [ SFC ] にする ( 77 ページ )



## 2 音場プログラムを選ぶ

1 ~ 6 ボタンで音場プログラムを選びます。また、赤く表示されている音場プログラムに対応するボタンを押すと、音場プログラムが解除されます。



選ばれた音場プログラム名が赤く表示されます。

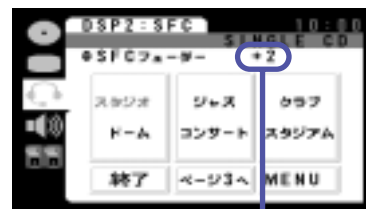
## 3 音場プログラムを調節する



前を強めるとき



後ろを強めるとき



SFC フェーダーは F12 ~ R12 の範囲で調節できます。



DSP 調節メニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

### メモ

SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール)の略です。

SFCフェーダーは、音場プログラムごとに前後の音量を調節する機能です。(SFC OFFのときは、調節できません。)通常の音量バランス調節 ( 69 ページ ) と SFC フェーダーを組み合わせて使用することで、音場プログラムに合った音量バランスに調節できます。

## 記憶されている音場プログラム

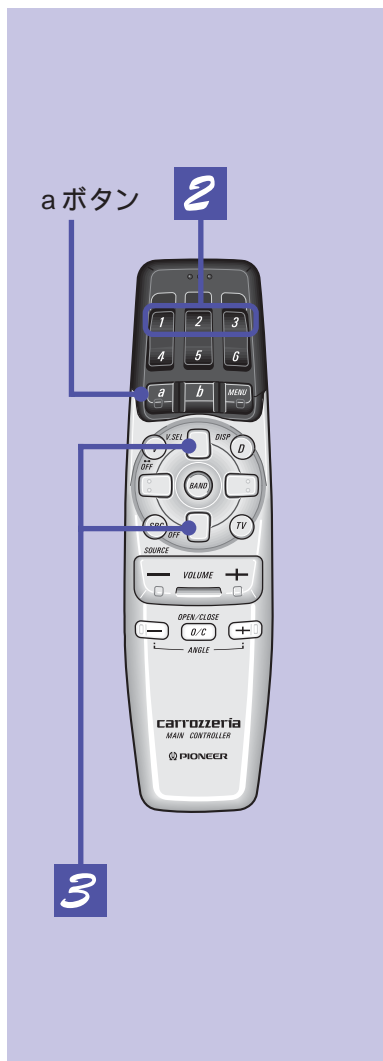
音場 (操作ボタン)	説明
スタジオ (1ボタン)	音像を正面に定位し、残響音は付加しません。比較的狭いミキシングルーム壁面からの初期反射音进行处理することで、基本的な音場を再現しています。
ジャズ (2ボタン)	50人～100人程度のジャズクラブで音楽を楽しむ空間をイメージしています。ライブ録音のソースなどに効果を発揮します。壁面からの反射音と残響音をリアルに再現しています。
クラブ (3ボタン)	50人程度入れるディスコを再現しています。残響音が吸収されやすい音場を再現し、ビートの効いた音楽を楽しむのに最適です。

音場 (操作ボタン)	説明
ドーム (4ボタン)	ドームスタジアムでのライブ演奏をイメージしています。多くの壁面からの反射音によりエコー音が生じます。その効果でドームスタジアムの広さを感じられる音場を再現しています。
コンサート (5ボタン)	1000人～2000人規模のクラシック音楽専用ホールを再現しています。反射音と残響音により、音の広がりとお行き感を楽しむことができます。
スタジアム (6ボタン)	野外スタジアムでのライブ演奏をイメージしています。多くの壁面からの反射音によりエコー音が生じます。その効果でスタジアムの広さを感じられる音場を再現しています。

# 曲に合わせてエフェクターをかけよう

## サウンドエフェクター

サウンドエフェクター機能により、音に特殊効果をかけて、自分だけの曲を楽しむことができます。サウンドエフェクターにはオートパン、フランジャー、ウェーブの3種類あります。SFCと同時に設定することはできません。

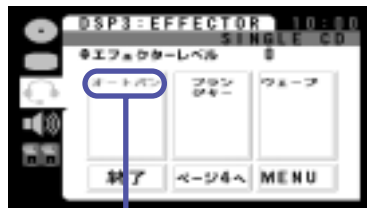


### 1 DSP 調節項目を [ EFFECTOR ] にする ( 77 ページ )



### 2 エフェクターを選ぶ

1 ~ 3 ボタンでエフェクターを選びます。また、赤く表示されているエフェクターに対応するボタンを押すとエフェクターが解除されます。



選ばれたエフェクター名が赤く表示されます。

### 3 変化の速度を調節する

#### オートパン

音を左右のスピーカーへ、交互に移動させる。

#### フランジャー

飛行機が飛んでくるような効果が得られます。

#### ウェーブ

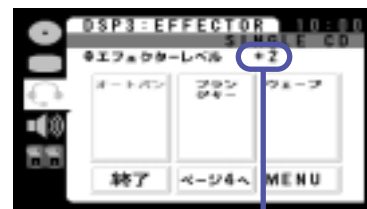
音がうねるような効果が得られます。



速度を速める



速度を遅くする



エフェクターレベルは-3 ~ +3 の範囲で調節できます。



DSP 調節メニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

# 音場の中心で聞く

## リスニングポジションセクター

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

### 乗車位置について

乗車位置は、次の中から選ぶことができます。

#### 乗車位置の使い分け

フロント	同乗者が助手席にいるとき
オール	同乗者が後部座席にいるとき
フロント ミギ	右ハンドル車の運転者のみがいるとき
フロント ヒダリ	左ハンドル車の運転者のみがいるとき

a ボタン

2



1

### DSP 調節項目を

[ POSITION ] にする (☞ 77 ページ)



2

### 乗車位置を選ぶ

1、2、4、5 ボタンで乗車位置を選びます。また、赤く表示されている乗車位置に対応するボタンを押すと乗車位置の設定が解除されます。



押すとフロントになります。



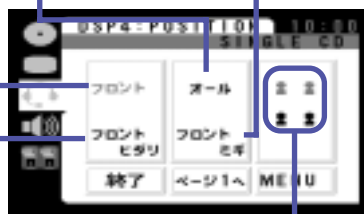
押すとオールになります。



押すとフロントミギになります。



押すとフロントヒダリになります。



選ばれたポジションが赤く表示されます。

DSP 調節モードを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

# オートイコライジングを行う前に

オートイコライジングを行う前に必ずお読みください。



## 警告

走行中にオートイコライジングを行わない



禁止

自動車が走行中に、オートイコライジングを行わないでください。オートイコライジング機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

## オートイコライジング機能について

車室内空間は、その狭さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

本機のオートイコライジング機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したとき(📖 78ページ)は、オートイコライジングにより乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。)

## スピーカー破損防止のために

次の状態でオートイコライジングを行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。オートイコライジングを行う前に、よく確認してください。

スピーカーの接続を誤っている場合

(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)

スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合



## オートイコライジングを行う前に

オートイコライジングは、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってからオートイコライジングを行ってください。計測音以外の音（車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など）によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。オートイコライジングは、必ず付属のマイクを使用して行ってください。付属のマイク以外のマイクでは、オートイコライジングが実行できなかつたり、車室内の音響特性が正しく測定できません。フロントスピーカーとリアスピーカーが共に接続されていない場合は、オートイコライジングが実行できません。

入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合に、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていると、オートイコライジングが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは指示位置（STD）に合わせてください。

オートイコライジングを行うと、サブウーファースの位相（☞ 70ページ）、レベル（☞ 72ページ）が自動的に調節され、お客様が調節された内容は変更されます。（サブウーファースを接続している場合、サブウーファース出力をOFF（☞ 70ページ）にしてもサブウーファースはONになり、自動的に調節されます。）

オートイコライジングを行うと前後左右の音量バランス調節（フェーダー/バランス）（☞ 69ページ）の設定がリセットされ初期設定に戻り、イコライザーカーブ（☞ 78ページ）はフラットになります。

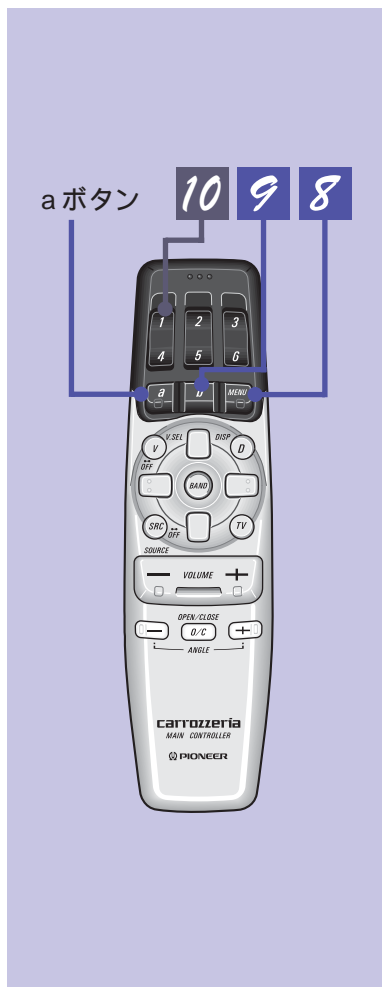
オートイコライジングを行うと、リスニングポジションセレクター（☞ 87ページ）は、フロントミギに設定されます。（ただし、フロントヒダリに設定していたときだけは、フロントヒダリのままになります。）

一度オートイコライジングを行った後に、再度オートイコライジングを行った場合は、前のオートイコライジングの調節内容は消去されます。

一度オートイコライジングを行った後に、RCA外部出力の設定（☞ 102ページ）を切り換えると、オートイコライジングの調節内容が自動的にリセットされます。再度、オートイコライジング調節を行ってください。

# オートイコライジングの調節

車室内の音響特性を自動的に計測して、車室内の音響特性を最適に自動補正することができます。



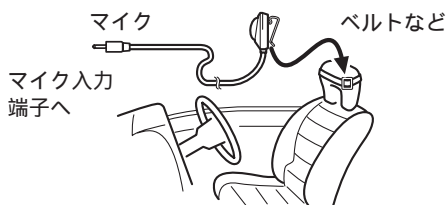
オートイコライジングが始まってから、CDやMDの挿入などでソースを切り換えしないでください。DSPの設定が変わってしまいます。

## 1 車の環境を整える

静かな所に車を停車させる。  
ドア、窓、サンルーフなどを閉める  
車のエンジンを停止する。

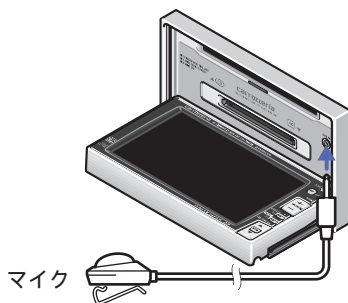
## 2 マイクをセットする

付属のマイクをベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に、前向きに固定する。



## 3 車のエンジンをACCまたはONにする

## 4 マイクを本体に接続する



### メモ

マイクをセットする位置により、オートイコライザーの調節内容が変わります。お好みにより、助手席にセットすることもできます。車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってオートイコライジングが実行できないことがあります。

マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。

## 5 本機の電源を入れる

(☞ 14ページ)

## 6 乗車位置を設定する

(☞ 87ページ)

フロント ミギまたはフロント ヒダリ以外に設定したときは、オートイコライジングを始めると、強制的にフロント ミギに再設定されます。

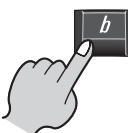
## 7 本機の電源を切る

(☞ 15ページ)

## 8 初期設定メニューにする



## 9 オートイコライジングモードにする

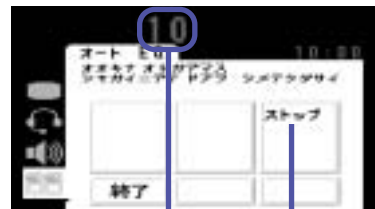


## 10 オートイコライジングを始める



10秒のカウントダウンが始まるので、10秒以内に車外に出てドアを閉めます。

計測音(ノイズ)が各スピーカーから出力されオートイコライジングが始まります。



カウント

3ボタンを押すとオートイコライジングを中止する

## 11 オートイコライジングが自動的に終了する

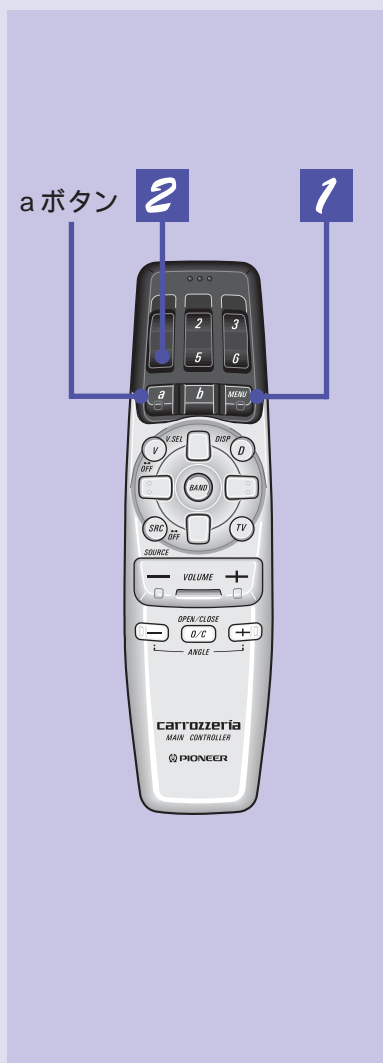


初期設定モードを解除するには、aボタンを押して終了してください。

# 時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのときは、時計を表示させることができます。



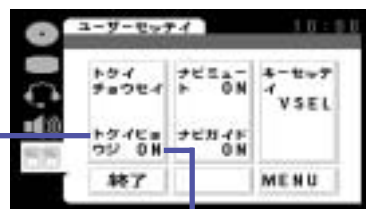
## 1 ユーザー設定メニューにする (16 ページ)



## 2 時計を表示させる



押すごとに時計表示が ON / OFF します。



ON/OFF が表示されます。



ユーザー設定モードを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

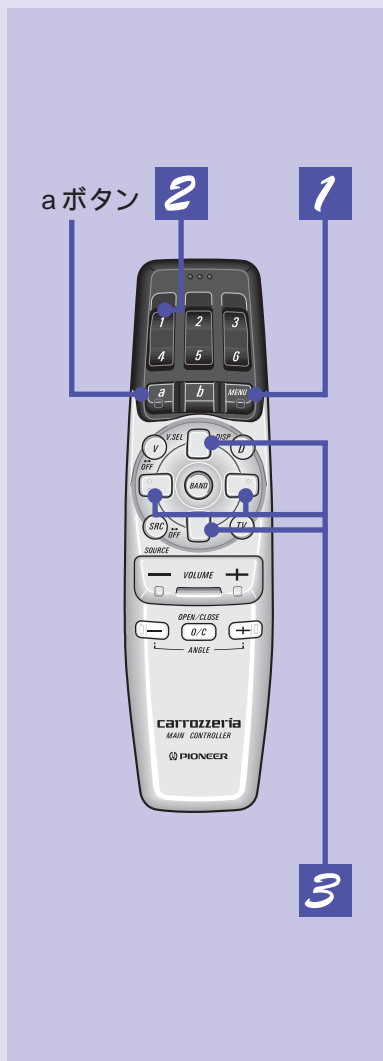


時計表示されます。

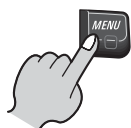
# 時計を合わせる

## 時計合わせ

時計を合わせることができる。



### 1 ユーザー設定メニューにする (16ページ)



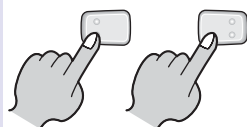
### 2 時計調整モードにする



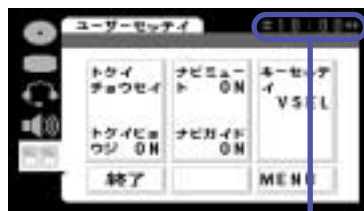
### 3 時計の調整をする



押しごとに「時」が1つずつ調整できます。



押しごとに「分」が1つずつ調整できます。



時刻が調整されます。

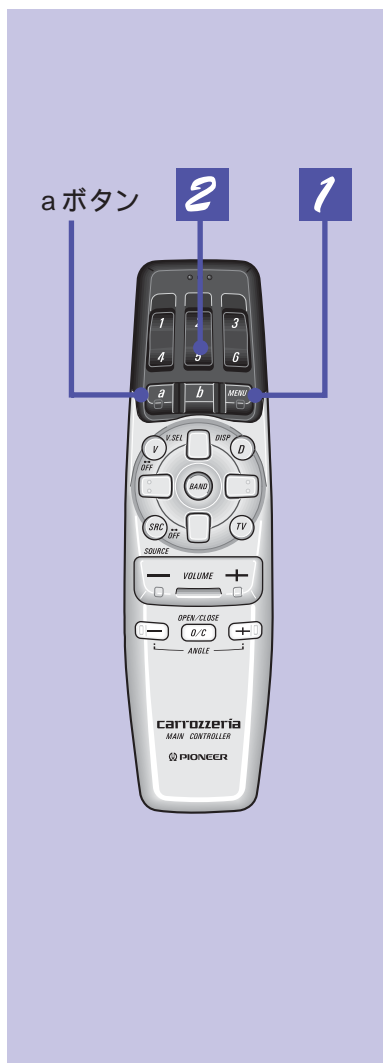


ユーザー設定モードを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

# ナビゲーションのガイド音声を設定する

## ガイド音声の設定

DVDナビゲーションのガイド音声を、今聞いているソースと一緒に、車のスピーカーから聞くことができます。



### ガイド音声について

DVDナビゲーションシステムで目的地までのルートを設定しておく、右左折の指示や目的地に近づいたことをガイド音声で案内してくれます。設定をONにすると、ガイド音声を今聞いているソースと一緒にスピーカーから出力します。

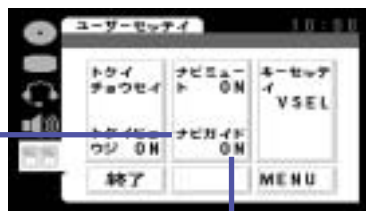
### 1 ユーザー設定メニューにする (👉 16ページ)



### 2 ナビゲーションのガイド音声を設定する



押すごとにナビガイド音声がON/OFFします。



ON/OFFが表示されます。



ユーザー設定モードを解除するには、aボタンを押して終了してください。

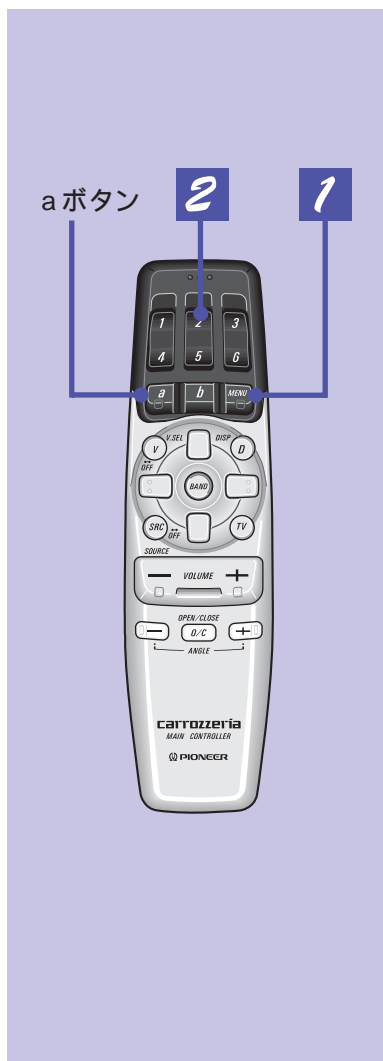
### メモ

ガイド音声の設定を“ON”にすると受光部付きスピーカーからもガイド音声が出力されます。

# ガイド音声中にソースの音量を下げる

## ガイド音声ミュート

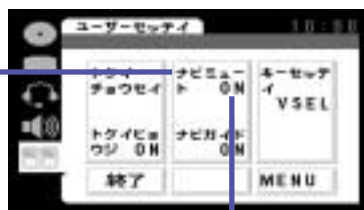
ナビゲーションのガイド音声聞き取りやすいように、今聞いているソースの音量をガイド中は下げることができます。



### 1 ユーザー設定メニューにする (16ページ)



### 2 ガイド音声ミュートを設定する



押すごとにガイド音声ミュートがON/OFFします。

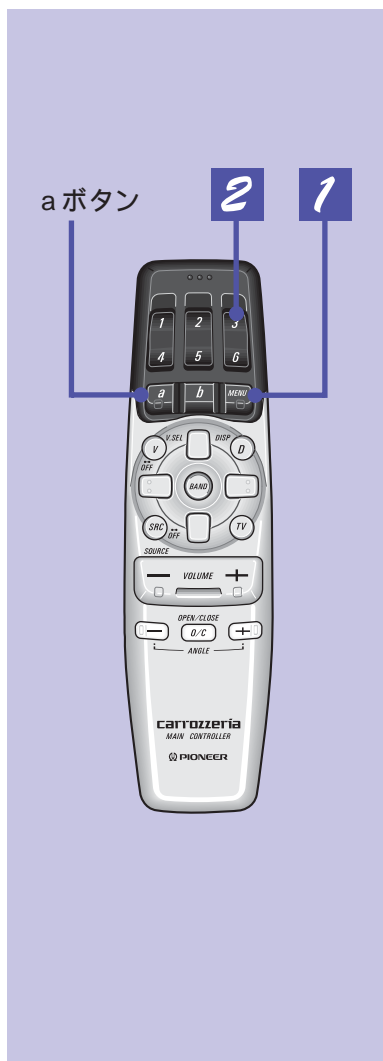
ON/OFFが表示されます。

↓  
ユーザー設定モードを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

# よく使う機能を学習させる

## 学習設定

よく使う機能を本体の学習ボタン (☞ 11 ページ) に学習させることができます。学習させた機能はメニューを切り換えなくても操作できるようになります。(初期設定では、VSEL が学習されています。)



### 学習できる機能

#### VSEL

ボタンを押すごとにナビゲーションやテレビ、ビデオの映像を切り換えます。(☞ 103 ページ)

#### ATT

ボタンを押すと音量が約 1/10 になります。OFF にする場合は、もう一度押してください。

#### TI

ボタンを押すと交通情報が聞けます。(☞ 42 ページ)

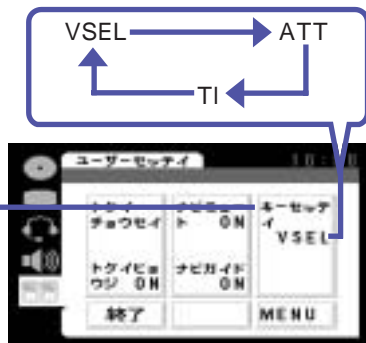
## 1 ユーザー設定メニューにする (☞ 16 ページ)



## 2 選んで学習させる



押すごとに機能が切り換わります。



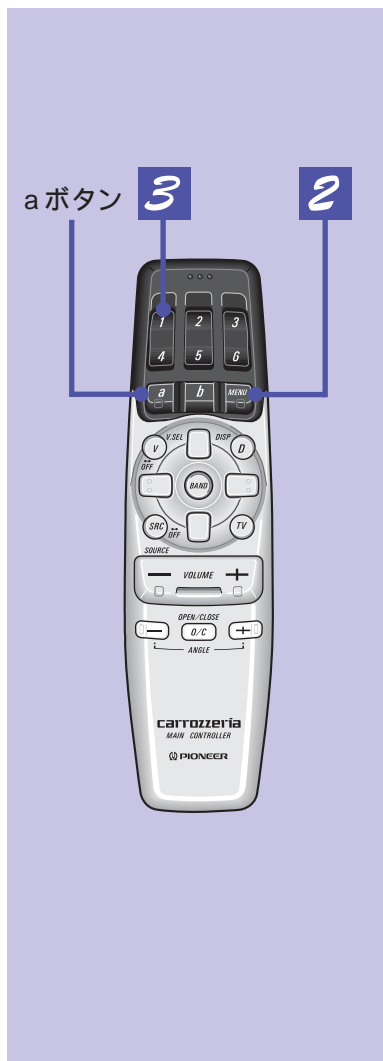
ユーザー設定モードを解除するには、a ボタンを押して終了してください。



# TV アンテナの設定をする

## TV アンテナの設定

本体の4つのTVアンテナ接続端子のうち、実際にTVアンテナを接続した数と同じ数を設定します。



### 1 本機の電源を切る

(☞ 15ページ)

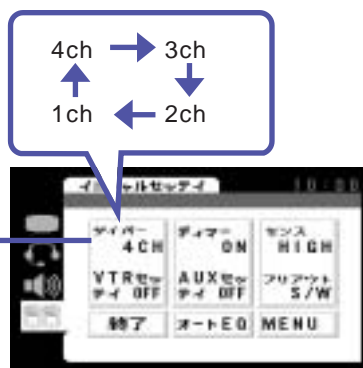
### 2 初期設定メニューにする



### 3 アンテナの設定をする



押すごとに切り換わります。



#### 設定のしかた

1 ~ 4 端子全てに接続	4ch
1 ~ 3 端子に接続	3ch
1 ~ 2 端子に接続	2ch
1のみ接続	1ch

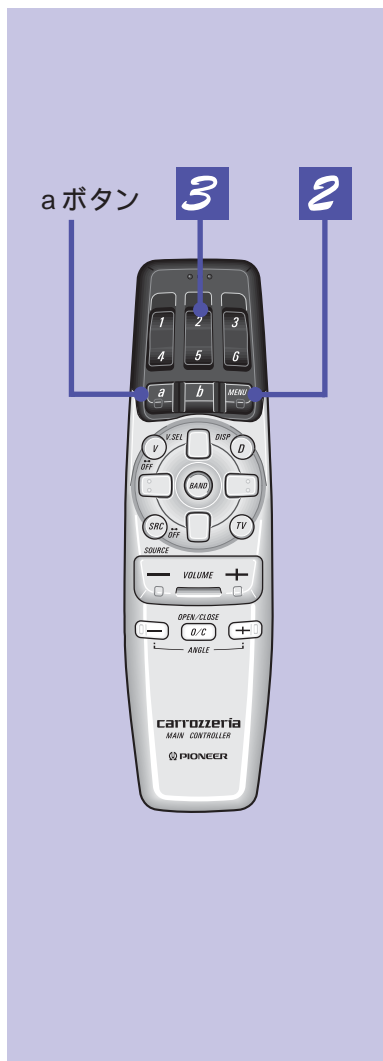


初期設定メニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

# 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマーの設定

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。このディマーの設定は、OFFにすることができます。



## 1 本機の電源を切る

(15 ページ)

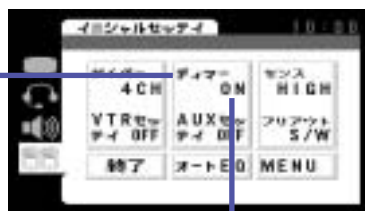
## 2 初期設定メニューにする



## 3 ディマーの設定をOFFにする



押すごとにディマーがON/OFFします。



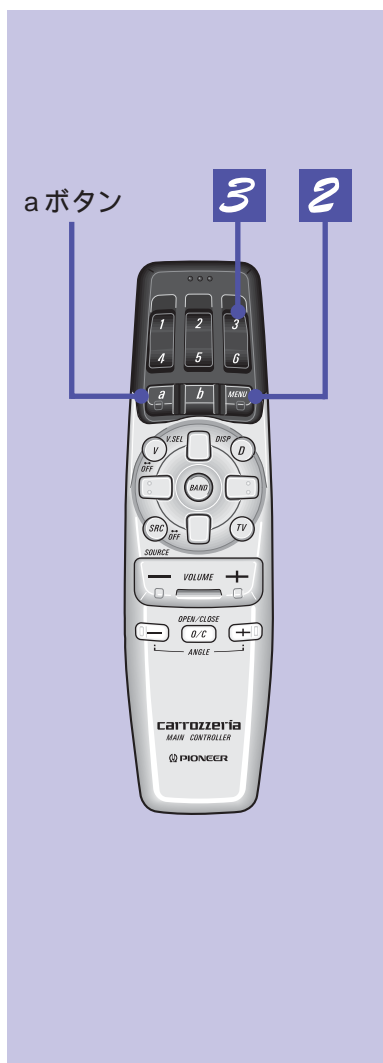
ON/OFFが表示されます。

初期設定メニューを解除するには、aボタンを押して終了してください。

# 音の歪みを補正する

## センス切り換え

イコライザーカーブの設定 ( 82ページ ) による音の歪みをなくすることができます。



### 1 本機の電源を切る

( 15ページ )

### 2 初期設定メニューにする



### 3 設定を選ぶ



押すごとにセンスの HIGH と LOW が切り換わります。



HIGH / LOW が表示されます。



初期設定メニューを解除するには、a ボタンを押して終了してください。

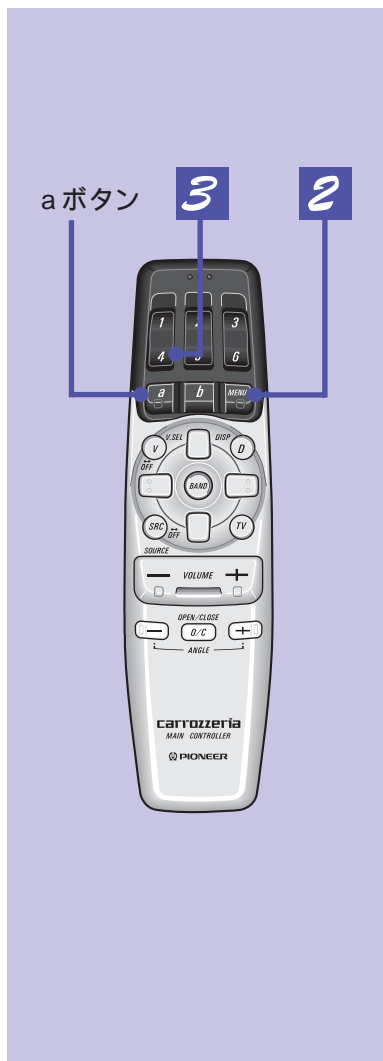
## センス切り換えについて

イコライザーカーブの設定 ( 74ページ ) のレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときはセンス切り換えの設定を “ LOW ” に切り換えてください。

# ビデオの映像を見る

VTRの設定

本機にビデオなどのVTR機器を接続すると、その映像を見ることができます。



## 1 本機の電源を切る

(☞ 15ページ)

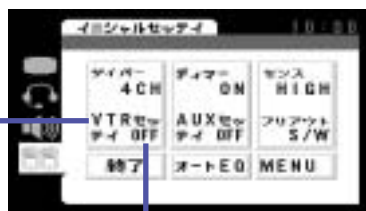
## 2 初期設定メニューにする



## 3 VTR (ビデオなど) の設定をONにする



押すごとに  
VTRの設定が  
ON/OFFします。



ON/OFFが表示されます。

初期設定メニューを解除するには、  
aボタンを押して終了してください。

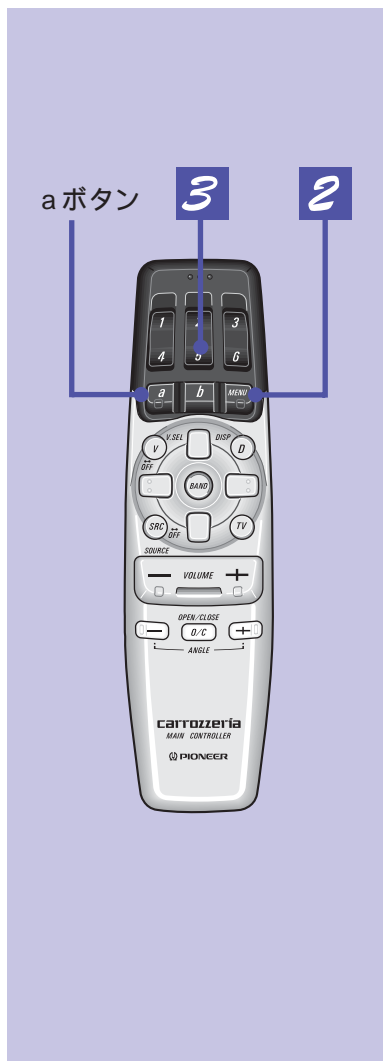
## 4 ソースをVTRにする (☞ 14ページ)

TVボタンでVTR(☞ 14ページ)か、またはテレビの設定を“ソースVTR”(☞ 49ページ)にすることにより、ビデオなどの映像を見ることができます。

# 外部機器の音声を聞く

## AUX (外部機器) の設定

本機にDATやビデオなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。



### 外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

#### 1 本機の電源を切る

(☞ 15ページ)

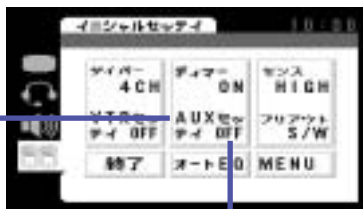
#### 2 初期設定メニューにする



#### 3 AUX (外部機器) の設定をONにする



押すごとに  
AUXの設定が  
ON/OFFします。



ON/OFFが表示されます。

初期設定メニューを解除するには、  
aボタンを押して終了してください。

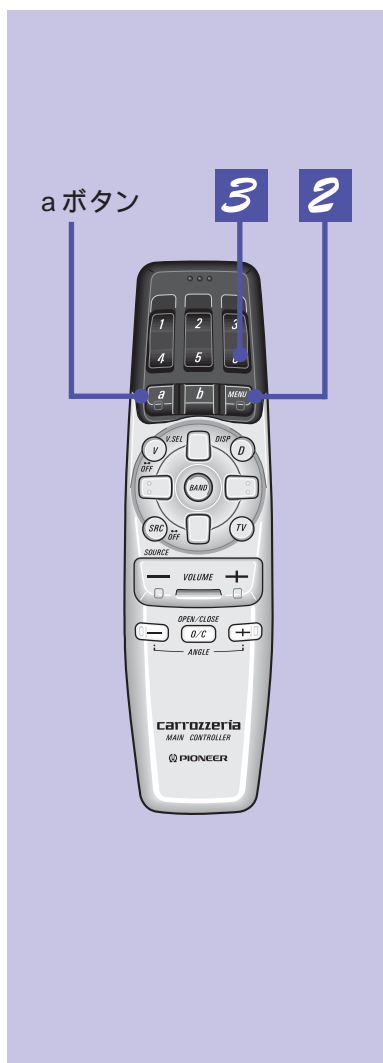
#### 4 ソースを AUX(外部機器)にする (☞ 14ページ)

外部機器の音声が聞けます。

# RCA 出力を切り換える

## RCA 出力切り換え

本機のRCA出力はリアとサブウーファーに切り換えられます。本機にサブウーファーを接続する場合はサブウーファーに、リアスピーカーを接続する場合はリアに切り換えます。(初期設定ではサブウーファーになっています。)



### 1 本機の電源を切る

(▶ 15 ページ)

### 2 初期設定メニューにする



### 3 RCA 出力を切り換える



押すごとに  
RCA 出力が切  
り換わります。



S/W (サブウーファー) /リアが表示  
されます。



初期設定メニューを解除するには、  
a ボタンを押して終了してください。

# 映像 (ナビなど) と音声を切り換える

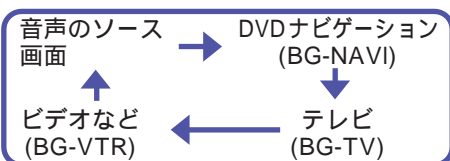
ビジュアルセレクト

DVDナビゲーションの画面を見ながらCDを聞くなど、異なるソースの映像と音声を同時に楽しむことができます。

## 1 映像を切り換える



押すごとに機能が切り換わります。



## 2 音声を切り換える



音声のソース画面が、約6秒間表示されます。

1

2

### メモ

映像をテレビに切り換えてから、音声もテレビにしたいときは、ソースをテレビに切り換えてください。(14ページ)

接続していない映像や音声には切り換わりません。

映像や音声の準備ができていないときは、その映像や音声には切り換わりません。

AUX (外部機器) の設定をONにしないと、AUXには切り換わりません。(101ページ)

VTRの設定をONにしないと、VTRには切り換わりません。(100ページ)

DVDナビゲーションを表示しているときに、SOURCE ボタンを2秒以上押してもナビゲーション画面はOFFになりません。ナビゲーション画面もOFFにする場合は、もう一度SOURCE ボタンを2秒以上押します。

# フロントパネル・モニターの正しい使いかた

## モニター取扱上のご注意

温度が - 10 度以下または + 50 度以上になるところでは、お使いにならないでください。

直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、モニターの液晶画面が故障する恐れがあります。できる限りモニターに直射日光が当たらないようにしてください。



フロントパネルの上に物を置いたり、フロントパネルの開け/閉めを手で行ったりしないでください。フロントパネルに強い力が加わると故障することがあります。



エアコンの吹き出し口の近くに来る場合は、エアコンの風がモニターに当たらないようにしてください。ヒーターの熱で液晶が壊れたり、クーラーの冷気でモニター内部に水滴がついて故障する恐れがあります。



フロントパネルを開け/閉めするときに、物をはさまないように注意してください。物をはさまると、フロントパネルが動かなくなることがあります。

フロントパネルが途中で止まった場合は、はさまった物を取り除いてから、もう一度操作してください。





## モニターの液晶画面について

寒いところでお使いになるときは、電源を入れた後、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。

モニター画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

## モニターの小型蛍光管について

液晶画面を光らせるために、モニター内部に小型蛍光管を使用しています。この蛍光管は消耗品で寿命があります。

蛍光管の寿命は約1万時間ですが、寒いところでお使いになりますと、寿命が短くなる場合があります。

蛍光管が寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店に、蛍光管の交換を依頼してください。

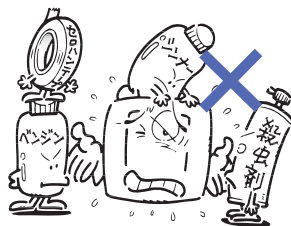
## モニターのお手入れについて

画面に付いたホコリやモニターの汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかい布で拭きしてください。

画面をふくときは、ツメで引っかかないように注意してください。画面にキズが付くと映像が見づらくなります。

化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ぬれたぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。



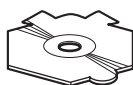
# CDの正しい使いかた

## 使用できるCDについて

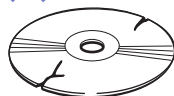
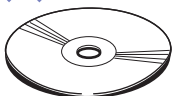
ディスクタイトル面に下記マークの付いているコンパクトディスク(光学式デジタルオーディオディスク)をお使いください。



特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

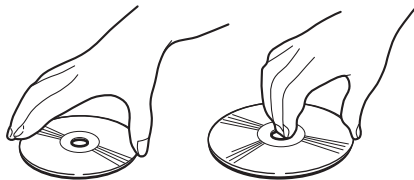


ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。



## 取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



CDにキズを付けしないでください。  
CDにシールなどを貼り付けしないでください。

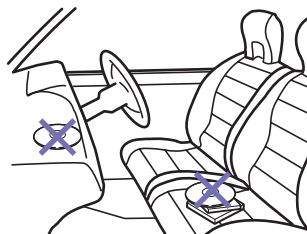


## メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

## 保管上のご注意

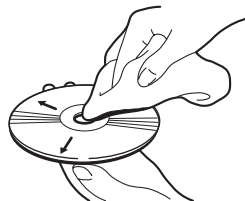
CDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



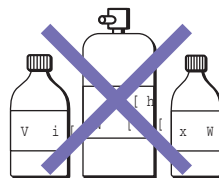
CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

## お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、CDの内側から外側へ軽くふいてください。



CDに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、CDには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

## CD再生の環境について

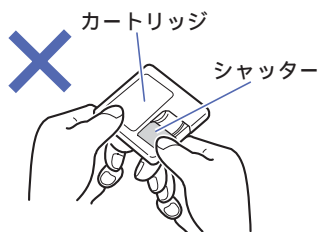
走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのを待ちください。CDに付いたつゆは、柔らかい布でふいてください。

# MD の正しい使いかた

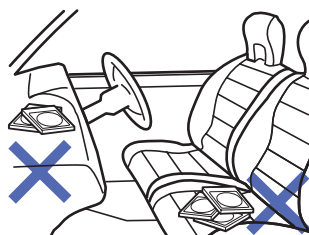
## 取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。



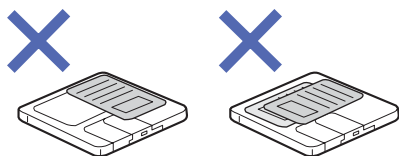
## 保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。

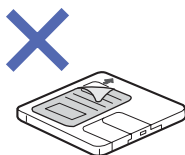


## ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



## お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽くふいてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



## MD再生の環境について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDにつゆが付いて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然につゆがとれるのを待ちください。MDのカートリッジ表面に付いたつゆは柔らかい布でふいてください。

# こんなメッセージが表示されたら

正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

## CDのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示される時	処置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ 106ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

## MDのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示される時	処置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	MDが汚れているとき。	MDの汚れをふき取ってください。 (☞ 107ページ)
	MDにキズやひびがあるとき。	MDを交換してください。
「ERROR-20」「ERROR-21」	振動などが原因で曲の情報を読みとれなかったとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
	MDに異常 (損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	
「ERROR-22」「ERROR-24」	MDに異常 (損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-23」	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してください。
「ERROR-01」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-17」 「ERROR-30」「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめてから、もう一度MD再生にしてください。
「HEAT」	本機の内部温度が高くなったとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

### メモ

マルチCDやマルチMD再生中に、上記以外のエラー番号が表示されたときは、各製品の取扱説明書をご覧ください。

## オートイコライジング機能のエラー表示

オートイコライジング機能によって、車室内の音響特性を正常に測定できないときは、下記のエラーコードが表示されます。内容を確認して、もう一度操作をやりなおしてください。

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示される時	処 置
「マイクヲセツゾクシテ クダサイ」	マイクが接続されていない。	付属のマイクをきちんと差し込んでください。
「スピーカーヲタダシク セツゾクシテクダサイ」	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。
		付属のマイクを正しくセットしてください。
「ソウオンノタメソクテイ デキマセン」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かな所に車を停車させ、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めてください。
		付属のマイクを正しくセットしてください。

# 故障かな？と思ったら

## 故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

## チェックしても なおらないときは

本機をリセットしてください。(☞ 112ページ)

## それでも なおらないときは

「保証書とアフターサービス」(☞ 113ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

### 共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(☞ 取付説明書)
音が出ない。音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ 23、29、35、45、51ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターをOFFにしてください。 (☞ 96ページ)
前または後のスピーカーの音が出ない。音が小さい。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	前後の音量バランスを調節してください。 (☞ 69ページ)
左または右のスピーカーの音が出ない。音が小さい。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	左右の音量バランスを調節してください。 (☞ 69ページ)

### CD

症 状	原 因	処 置
CDの再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。(☞ 106ページ)
	CDにくもりや水滴が付いている。	CDのくもりや水滴をふき取ってください。 (☞ 106ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。 (☞ 22ページ)

## MD

症 状	原 因	処 置
MDの再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDにくもりや水滴が付いている。	
	購入したばかり、または全曲を消去した録音用MDを挿入した。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。( 28ページ)

## ラジオ/テレビ

症 状	原 因	処 置
ラジオまたはテレビの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数やチャンネルが合っていない。	周波数やチャンネルを正しく合わせてください。( 35、45ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。( 35、45ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。( 35、45ページ)

# 本機を初期状態に戻す

リセット

本機を初期状態に戻すことができます。



リセットボタン

## リセットについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態（ご購入直後の状態）に戻ります。

次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

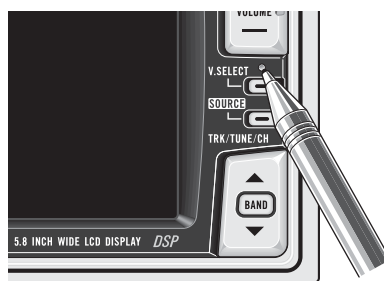
本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

## 本機を リセットする

ペン先などでリセットボタンを押す。



マイコンが初期状態に戻ります。



# 保証書とアフターサービス

## 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

## 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

## 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアお客様相談センターまたは最寄りのパイオニアインフォメーションセンター（I・C）をご利用ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

# おもな仕様

## CD プレーヤー部

形式	: コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク	: コンパクトディスク
信号フォーマット	: サンプル周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16ビット直線
周波数特性	: 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N	: 96 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミックレンジ	: 94 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

## MD プレーヤー部

形式	: ミニディスクデジタルオーディオシステム
使用ディスク	: ミニディスク
信号フォーマット	: サンプル周波数: 44.1 kHz 量子化ビット数: 16ビット直線
周波数特性	: 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N	: 90 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミックレンジ	: 91 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

## FM チューナー部

受信周波数帯域	: 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度	: 11 dBf (0.8 μV/75、モノラル、S/N: 30 dB)
S/N 50 dB感度	: 16 dBf (1.1 μV/75、モノラル)
S/N	: 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率	: 0.3% (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性	: 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)
ステレオセパレーション	: 40 dB (65 dBf 入力、1 kHz)
実用選択度	: 70 dB (2ACA)

## AM チューナー部

受信周波数帯域	: 522 ~ 1,629 kHz
実用感度	: 18 μV (S/N: 20 dB)
実効選択度	: 50 dB (± 9 kHz)

## TV チューナー部

受信チャンネル	: VHF1 ~ 12 ch、UHF13 ~ 62 ch
S/N	: 60 dB (IHF-A ネットワーク)
ステレオセパレーション	: 25 dB以上 (1 kHz)
外部映像入力レベル	: 1Vp-p/75
外部音声入力レベル	: 450mV
映像出力インピーダンス	: 1Vp-p、75 不平衡、同期負

## モニター部

画面サイズ	: 5.8インチワイドディスプレイ
有効画素数	: 280,800画素
方式	: TFT アクティブマトリクス方式
使用温度範囲	: - 10 ~ + 50
保存温度範囲	: - 20 ~ + 80
スライド角度調整ステップ数	: 12ステップ

## アンプ・共通部

最大消費電流	: 10.0 A
最大出力	: 40 W × 4
定格出力	: 20 W × 4 (50 ~ 15,000 Hz、5%)
ラウドネス	
コンター	: 5 dB (100 Hz)、4 dB (10 kHz)
負荷	
インピーダンス	: 4 (4 ~ 8 使用可能)
出力レベル	
インピーダンス	: 500 mV/1 k
使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
取付寸法	: 178 (W) × 100 (H) × 165 (D) mm
ノーズ寸法	: 170 (W) × 95 (H) × 21 (D) mm
重量	: 2.7 kg (コード含まず)

## 付属品

メイン	
コントローラー	: 1
単4形	
乾電池 (R03)	: 2
マイクユニット	: 1
コード類	: 1式
取付ネジ類	: 1式
取扱説明書/	
取付説明書	: 1式
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1
ご相談窓口・修理	
窓口のご案内	: 1

## オーディオ部

### 13バンド

イコライザー	: 周波数 : 50Hz、80 Hz、125 Hz、 200 Hz、315 Hz、 500 Hz、800 Hz、 1 kHz、2 kHz、 3 kHz、5 kHz、 8 kHz、13 kHz、 調整幅 : ± 12 dB
--------	--

### サブウーファー

出力	: カットオフ周波数 : 50/80/125 Hz
	: カットオフスロープ : - 18 dB/oct
	: 調整幅 : ± 12 dB
	: 位相切換 : 0°/180°

本機はドルビー・ラボラトリーズ・ライセンスシン  
グコーポレーションの米国および外国特許に基づ  
く許諾製品です。

## メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することが  
あります。また、この説明書の中のイラストと  
実物が、一部異なる場合があります。



エコマーク認定の再生紙を使用しています。

< 98C00F0K00 >

© パイオニア株式会社 1998

< CRA2490-B >

# パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

お客様ご相談窓口（修理に関しては別添『ご相談窓口・修理窓口のご案内』参照）

お客様相談センター TEL 03-3491-8181

技術相談窓口	札幌	TEL 011-644-4779	大阪	TEL 06-353-3705
	仙台	TEL 022-375-4417	広島	TEL 082-228-2239
	名古屋	TEL 052-532-1141	福岡	TEL 092-441-8076